

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市立城西中学校給水設備他改修工事

（●印を適用）

1. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」

第9条第1項に規定する対象工事

● 該当する

○ 該当しない

2. 別途工事

電気設備工事 . . . 一式

3. 現場の状況

設計図のとおり

4. 留意事項

① 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

② 工事中は学校運営と同時使用になるため、仮囲い等を設置し、事故の無い様
十分注意してください。

③ 生徒・職員及び第三者に対する安全確保に努めるとともに、粉塵・騒音及び
振動・ガラ等の飛散に対して十分な配慮を講じてください。

④ 工事関係車両の駐車場は、学校管理者と協議が必要です。

⑤ 労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、
「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による
墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具
及びランヤード等）としています。

5. 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。

については、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示
のご協力をお願いします。

使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとし、指定の
デザインとする。

「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請」
の提出は不要とする。

使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意す
こと。

大会ロゴの標示については任意事項とし、標示する際は、発注課へ必ず連絡すること。


ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日とする。

（デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せください。）

福山市立城西中学校給水設備他改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	備考
M-1/14	機械設備工事特記仕様書 No. 1		福山市機械設備工事仕様書 No. 1
M-2/14	機械設備工事特記仕様書 No. 2		福山市機械設備工事仕様書 No. 2
M-3/14	改修後 配置・付近見取図	1/1000	
M-4/14	改修後 配置図 (2)	1/300	
M-5/14	改修前 配置・付近見取図	1/1000	
M-6/14	改修前 配置図 (2)	1/300	
M-7/14	改修後 立管系統図	No Scale	
M-8/14	改修前 立管系統図	No Scale	
M-9/14	改修前・後 北棟1階平面図	1/150	
M-10/14	改修前・後 北棟R・PH階平面図	1/150	
M-11/14	改修後 受水槽廻り配管詳細図	1/50	
M-12/14	中継槽廻り配管詳細図	1/20.30.50	
M-13/14	改修前 受水槽廻り配管詳細図	1/50	
M-14/14	仮設計画図	1/300	

福山市教育委員会施設課

 福山市教育委員会施設課					
主務	課員	施設担当次長	課長補佐	施設課長	管理部長

福山市機械設備工事特記仕様書

1 工事概要
1 工事名称 福山市立城西中学校給水設備他改修工事
2 工事場所 福山市山手町3000番地
3 用途地域
4 防火地域
5 工事種別
6 敷地面積
7 建物概要
8 消防法令に基づく防火対象物

9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分
10 建築基準法施行規則に定める主要用途区分
11 建築基準法施行規則に定める主要用途区分

II 工事種目 (O印のついたものを適用する。)
Table with columns: 工 事 種 目, 工 事 種 目
1. 給排水衛生設備工事
2. 空調設備工事

III 設備概要 (O印のついたものを適用する。)

Table with columns: 給排水衛生設備, 衛生設備, 空調設備, 換気設備, 排煙設備, 自動制御設備

IV 機械設備工事仕様

1 共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準仕様書」という。)

- (1) 官庁手続き
(2) 地元企業及び地場製品の活用
(3) 経費に対する協議等
2 特記仕様
(1) 項目は、番号にO印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は※およびO印のついたものを適用する。
3 引渡し後、次に示す点検を行う。(O印のついたものを適用する。)

Table with columns: 章 項 目, 特 記 事 項
1 適用基準等
2 監理(主任)技術者
3 電気保安技術者
4 技能士

Table with columns: 工 事 別, 適 用 種 別, 工 事 別, 適 用 種 別
・配管 配管施工
・保温 熱絶縁施工
・電気 電気配線施工

5 施工管理
※施工管理体制(建設業法等に従って作成し、写しを提出する。)
※施工体系図(建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に提示する。)

6 発生材の処理
※上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)

7 工事及び完成写真
Table with columns: 分類, 規格, 撮影枚数, 提出部数

建設副産物は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を監督員に提出する。
○各種写真は、写真帳(A4版)にて工事完成時に提出する。
○原簿等の提出 する(完成時のみ) 全て

9 完成時の提出図書
速やかに次の図書を提出する。
竣工図(A 3版2折りにして製本) 部
○ 完成図 ○ 竣工図
○ 保全に関する資料(設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等)
○ 竣工図電子データ(竣工図を含む)一式(竣工図電子データ作成要領)による。
○ CADデータ(媒体(CD-Rなど)、データ形式等は監督員の指示による)

10 関連工事等の調整等
○ 内部足場 (○ 単管足場 ・ 枠組足場)
○ 外部足場 (○ 枠組足場 ○ 単管足場)
※枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

11 足場
○ 内部足場 (○ 単管足場 ・ 枠組足場)
○ 外部足場 (○ 枠組足場 ○ 単管足場)
※枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

12 施工中の安全確保
○ 同一場所で契約書に基づく関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。
○ 本工事は、交通誘導員として30人を見込んでいます。交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。
※受注者は、次表に従い、工事実績情報システム(CORINS)へ登録する。
登録内容について、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

Table with columns: 請負金額, 工事受注時, 登録内容の変更時, 工事完成時
500万円以上 契約後10日以内 変更契約後10日以内 工事完成後10日以内

13 工事実績情報システム(CORINS)への登録
○ 飲料水(雑用水)の水質 ・ 浄化槽の放流水質 ・ 化学物質の濃度
測定箇所等は、監督員の指示による。
監督員と協議の上、設備機器類(ボイラー、冷凍機、ポンプ、空調機等)及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明板を作成し、指示する箇所に取付ける。
特記なき場合は、EM電線・ケーブルとする。
標準仕様書によるほか下記による。
・ 運転ブロック図に適合するものとする。
・ ボイラー及び冷水温水機等の附属壁の始動スイッチ2次側に煤煙濃度計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書 ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び接点盤は標準仕様書 ※ 適用する ・ 機器表特記による

14 測定表
○ 合成ゴム製 (球形) ○ ベローズ形
標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。(舗装部分は鉄製 ○ コンクリート製)
排水管を除く地中配管には、土盛り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
・ 放射線透過検査等 ※ 必要 ・ 不要

15 説明板
○ 合成ゴム製 (球形) ○ ベローズ形
標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。(舗装部分は鉄製 ○ コンクリート製)
排水管を除く地中配管には、土盛り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
・ 放射線透過検査等 ※ 必要 ・ 不要

16 電線類
○ 鋼管製の制脚盤
標準仕様書によるほか下記による。
・ 運転ブロック図に適合するものとする。
・ ボイラー及び冷水温水機等の附属壁の始動スイッチ2次側に煤煙濃度計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書 ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び接点盤は標準仕様書 ※ 適用する ・ 機器表特記による

17 耐震施工
設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8年版・建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2014年版・一般財団法人日本建築センター発行)による。耐震クラスは()とする。
標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。
イ) ポリスチレンフォーム 給水配管、排水配管の多湿場所
ロ) グラスウール ----- 給水配管、給湯配管、ダクト類、冷水水配管等
ハ) ロックウール ----- 排気ダクト、排煙ダクト
ベトログラム系防音テープ (1/2重ね、1回巻) + プラスチックテープ (1/2重ね、1回巻)
ブチルゴム系粘着テープ (1/2重ね、2回巻)
熱収縮材
防食用ポリ塩化ビニル粘着テープ (J I S Z 1901) 0.4m/m) 1/2重ね、2回巻

18 保温材
標準仕様書及び図示による。
外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管(VU)とする。
(柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙製板特としてもよい。)

19 機器性能
○ 電気容量
○ 防火区画の貫通処理
○ 溶接配管の検査
○ スリーブ
○ 機器性能
○ 電気容量
○ 防火区画の貫通処理
○ 溶接配管の検査
○ スリーブ

20 給水配管
○ 鋼管製の制脚盤
標準仕様書によるほか下記による。
・ 運転ブロック図に適合するものとする。
・ ボイラー及び冷水温水機等の附属壁の始動スイッチ2次側に煤煙濃度計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書 ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び接点盤は標準仕様書 ※ 適用する ・ 機器表特記による

1 工事現場仮囲い
2 受注者事務所等
3 工事用水
4 工事用電力
5 引渡しまでの光熱水費

1 衛生陶器附属品
2 大便器
3 小便器
4 大便器洗浄弁
5 大洗浄用タンク
6 便座
7 化粧箱
8 化粧鏡
9 和風便器耐火カバー
10 手洗器
11 洗面器
12 紙巻器
13 水栓
14 水セッケン入れ(水セッケン具)
15 セッケン受け

1 給水方式
2 管
3 井
4 フレキシブルジョイント
5 伸縮管継手
6 高置水槽
7 受水槽(中継槽)
8 鋼板製水槽の防錆
9 掃水及び加圧給水ポンプ
10 ポンプ基礎
11 管
12 井
13 弁
14 弁
15 弁
16 弁
17 弁
18 弁
19 弁

1 直結直立式 ・ 直結増圧式 ○ 高置水槽式 ○ 受水槽方式
・ 水通硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・ 内外高水通硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
○ 水通硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6742) (○ H I V P ・ V P)
・ 架橋ポリエチレン管 (J I S K 6769, J I S K 6787)
・ ポリブテン管 (J I S K 6778, J I S K 6792)
・ ポリエチレン管 (J I S K 6762, J W W A K 144)
・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3448) S U S 304

1 直結直立式 ・ 直結増圧式 ○ 高置水槽式 ○ 受水槽方式
・ 水通硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・ 内外高水通硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
○ 水通硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6742) (○ H I V P ・ V P)
・ 架橋ポリエチレン管 (J I S K 6769, J I S K 6787)
・ ポリブテン管 (J I S K 6778, J I S K 6792)
・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3448) S U S 304

1 直結直立式 ・ 直結増圧式 ○ 高置水槽式 ○ 受水槽方式
・ 水通硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・ 内外高水通硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
○ 水通硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6742) (○ H I V P ・ V P)
・ 架橋ポリエチレン管 (J I S K 6769, J I S K 6787)
・ ポリブテン管 (J I S K 6778, J I S K 6792)
・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3448) S U S 304

1 直結直立式 ・ 直結増圧式 ○ 高置水槽式 ○ 受水槽方式
・ 水通硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・ 内外高水通硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
○ 水通硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6742) (○ H I V P ・ V P)
・ 架橋ポリエチレン管 (J I S K 6769, J I S K 6787)
・ ポリブテン管 (J I S K 6778, J I S K 6792)
・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3448) S U S 304

1 直結直立式 ・ 直結増圧式 ○ 高置水槽式 ○ 受水槽方式
・ 水通硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・ 内外高水通硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
○ 水通硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6742) (○ H I V P ・ V P)
・ 架橋ポリエチレン管 (J I S K 6769, J I S K 6787)
・ ポリブテン管 (J I S K 6778, J I S K 6792)
・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3448) S U S 304

給排水衛生凡例
Table with columns: 給水管, 排水管, 給湯管, 消火管, 排水管, 瓦所管, 通気管, 止水栓, 逆止弁, 量水器, 床下掃除口, 床下掃除口, 床排水トラップ, 排水金物, 間接排水金物, 空気調和凡例, 膨張管, 電磁弁, 二方弁, ストレーナ, フレキシブルジョイント, 自動エア弁, 安全弁及び逆止弁, 温度計, 圧力計, 遠成計, 単式伸縮管継手, ダンパー

福山市立城西中学校給水設備他改修工事
機械設備工事特記仕様書 No. 1
2023年 12月
福山市教育委員会施設課

排水設備	① 管 (第1層まで)	※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6 7 4 1) V P (・ 露出部 カラーVP) ・ 排水用給管 (S H A S E - S 2 0 3) ・ コーティング鋼管 ・ 結露防止層付塩化ビニル管 ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (J I S G 3 4 5 2) S G P
	2 通気管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6 7 4 1) V P (・ 露出部 カラーVP) ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管
	3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。
	4 ビット内配管保温	・ 施工する ・ 施工しない
	② 方式	① 自然排水 ・ ポンプ排水
	③ 管	① 硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6 7 4 1) (・ VP ※ VU)
	④ インバート樹	・ SA, AB形 ・ SC形 ・ 小口径
	⑤ インバート樹用蓋	・ 塩ビ製 ・ 鋼鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ 小口径用防護ハット)
	⑥ 排水樹	・ RA, RB形 ・ SC形 ・ 小口径 ⑦ タメ樹
	⑧ 排水樹用蓋	① 塩ビ製 ・ 鋼鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ 小口径用防護ハット) ・ グレーチング ・ 鉄板製 ⑦ 6m/m
	⑨ 埋設深さ	① 300m/m以上 (車両道路以外) ・ 600m/m以上 (車両道路) ・ 勾配図による。
	12 その他	① 配管工事完了後、防露工事前に監督員立会の上、通水試験を行う。 ・ 配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会の上満水試験を行う。

給湯設備	1 方式	・ 単管式 ・ 復管式
	2 管	・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径20までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に発泡断熱材 (14mm以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管
	3 弁	・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K
	4 熱源	・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 ()
	5 貯水タンク	・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 ()
	6 その他	・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート1回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。

消火設備	1 管	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (J I S G 3 4 5 4) S T P G ・ 配管用炭素鋼鋼管 (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (W S P 0 4 1) S G P - V S ※ 消火用配管は、消防法令に適合するものとする。
	2 弁	・ J I S 1 0 K
	3 消火栓箱	・ 総合形 (・ HB-1A ・ HB-1B) ・ 単独形 (・ HB-2A ・ HB-2B) ・ 総合形 (・ HB-4A ・ HB-4B) ・ 消火器箱併設形 (・ HB-1AS ・ HB-1BS) ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 ()
	4 水源用水槽	・ 認定型 50φ×300L /min×53m 5.5kW×1台 ・ 標準 (既設再利用) ・ 防振型
	5 消火ポンプユニット	・ () 型 () 本 ・ 収納箱共 ・ 置台共 ・ 壁掛フック共
	6 ポンプ基礎	イ) 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ロ) 充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する
	7 消火器	ハ) 消火配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水用 ・ 施工しない ・ 施工する
	8 保温	水圧試験及び消防設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。

浄化槽設備	1 処理種別	・ 小規模合併処理 ・ 合併処理 ・ 単独処理槽 ・ 放流水質 (・ BOD mg/l 以下 ・ COD mg/l 以下) ・ T-N mg/l 以下 ・ T-P mg/l 以下)
	2 構造	・ 分離接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式 ・ その他 ()
	3 形式・容量	・ ユニット型 () 型 人槽 /日) ・ 現場施工型 () 人槽 /日)
	4 排水方式	・ 自然排水 ・ ポンプ排水 ()
	5 マンホール	・ MHA型 ・ MHB型 ・ 製造者の規格品
	6 その他	工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、 処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。 槽の水張り試験及び配管の満水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引継時までに必要薬剤やその量を報告する。

ガス設備	1 種別	・ 都市ガス ・ 液化石油ガス
	2 管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (J I S G 3 4 5 2) (白管) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (J I S G 3 4 5 4) (黒管) ・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ・ ガス用ポリエチレン管 (J I S K 6 7 7 4) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (J I S G 3 4 6 9) ・ 塩化ビニル被覆鋼管
	3 継手	・ 鋼管継手 (亜鉛メッキ) ・ PLS継手同等品以上、溶接継手
	4 プロパンガス集合装置	・ () kg× () 本立 ・ 無 ・ バルク貯槽 () kg ・ 型式 ・ 構造
	5 機器等	・ 別図による
	6 遮断装置等	遮断弁 ・ ガス漏れ警報器 ・ 取付は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 ・ 配線接続は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。 ・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻し前又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。
	7 その他	

空調設備	1 設計条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">条件</th> <th colspan="2">屋外</th> <th colspan="2">屋内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>35.0 °C</td> <td>67.1 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>50.0 %</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.1 °C</td> <td>71.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0 %</td> </tr> </table> <p>※ 湿度調節機能がない設備については、成行とする。</p>	条件	屋外		屋内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %	冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %
	条件	屋外		屋内																	
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																
	夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %																
	冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %																
	2 冷水・温水・冷却水	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4																			
	3 蒸気・油管及び冷媒管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 断熱材被覆鋼管 (J C D A 0 0 0 9)																			
	4 ブライン管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (J I S G 3 4 5 2) S G P																			
	5 給水及び排水管	給、排水設備の項による。																			
	6 ファンコイルユニット及びパッケージエアコン	・ 床置形 ・ 天井形 (・ 露出 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形)																			
	7 フレキシブルジョイント	・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製																			
	8 吹出口・吸込口	・ 枠及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ・ アルミニウム製																			
9 防煙・防火ダンパー	・ 防煙ダンパー (SD) ・ 防火ダンパー (FD) ・ 防煙防火ダンパー (SFD) ・ 防煙ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー駆動機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式																				
10 風道	・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・ 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・ 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アンクルフランジ工法) 消音材を内貼りした風道、チャンバーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。 試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ・ 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の () % を予備品 (特付) として納める。																				
11 冷温水管の空気抜																					
12 その他																					

換気設備	1 ダクト	低圧ダクト (・ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法 (・ 共板 ・ スライド ・ アンクル工法)) とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一番手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアンクルフランジ工法とする。 ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) 取付位置は (・ 図示した位置 ・ 遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト) とする。
	2 風量測定口	空気調和設備の当該項目による。
	3 ダンパー	・ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統
	4 排気ダクトのシール	空気調和設備の当該項目による。
	5 チャンバー	下記ダクトの保温を行う。 ・ 全熱交換器用のダクト (保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ・ (・ 厨房 ・ 湯沸室 ・) のダクト (仕様はh・(イ)・Ⅱとし範囲は図示による。) ・ OAダクト 機器から外壁の間 (保温の厚さ25mm) ・ EAダクト 外壁より1m (保温の厚さ25mm)
	6 保温	

自動制御設備	1 中央監視制御装置	・ 有り (構成機能図は図示による) ・ 無し
	2 電源装置	・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要
	3 計装工事の記録	屋外、屋内露出の記録は、図面に特記のない限り金属管記録とする。

特記事項	1 広島県工事中情報共有システムへの登録	受注者は、次表に従い、情報共有システムへ登録し利用する。 <table border="1"> <tr> <th>金額</th> <th>利用形態</th> </tr> <tr> <td>設計金額3,500万円以上</td> <td>発注者指定型</td> </tr> <tr> <td>当初契約金額500万円以上</td> <td>受注者希望型</td> </tr> </table> <p>発注者指定型の場合、システム利用料を見込んでいます。 本工事で利用する情報共有システム (広島県工事中情報共有システム) http://www.hdobokuk.or.jp/kouji/jyosuisutem2.html 受注者は、情報共有システムの利用の有無について、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し決定すること。 受注者は、情報共有システムを利用する場合、(一社)広島県土木協会に利用申し込みを行い利用料を支払うこと。 情報共有システムの利用は次によること。 ・ 福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領 (建築工事) ・ 情報共有システム利用手引 (建築工事)</p>	金額	利用形態	設計金額3,500万円以上	発注者指定型	当初契約金額500万円以上	受注者希望型
	金額	利用形態						
設計金額3,500万円以上	発注者指定型							
当初契約金額500万円以上	受注者希望型							
2								

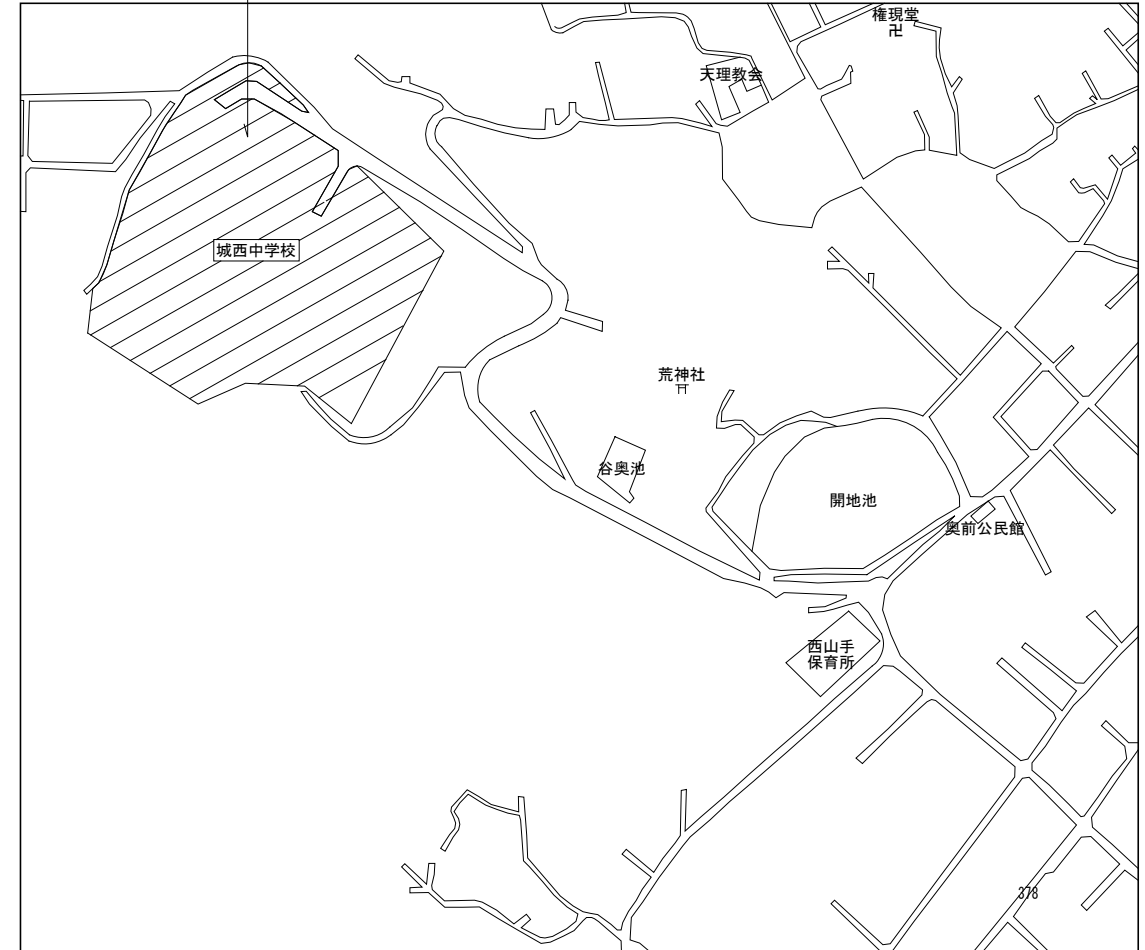
凡例

図中記号	備考	管種・JIS記号
---	新設揚水管(公道部)	水道配水管 リン管 (HPPE) JWMA K 144
---	新設揚水管(敷地内)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) JIS K 6742
---	新設給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) JIS K 6742
X	新設消火栓管	配管用炭素鋼管 JIS K 3452 (白鋼管)
WD	新設排水管(樹一次側)	硬質塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
---	新設排水管(屋外横主管)	硬質塩化ビニル管 (VU) JIS K 6741
---	既設給水管	
X	既設消火栓管	
WD	既設排水管	
(※※)	既設管口径を示す	
⊙	既設管接続	
●	地中埋設標	鉄製
■	地中埋設標	コンクリート製

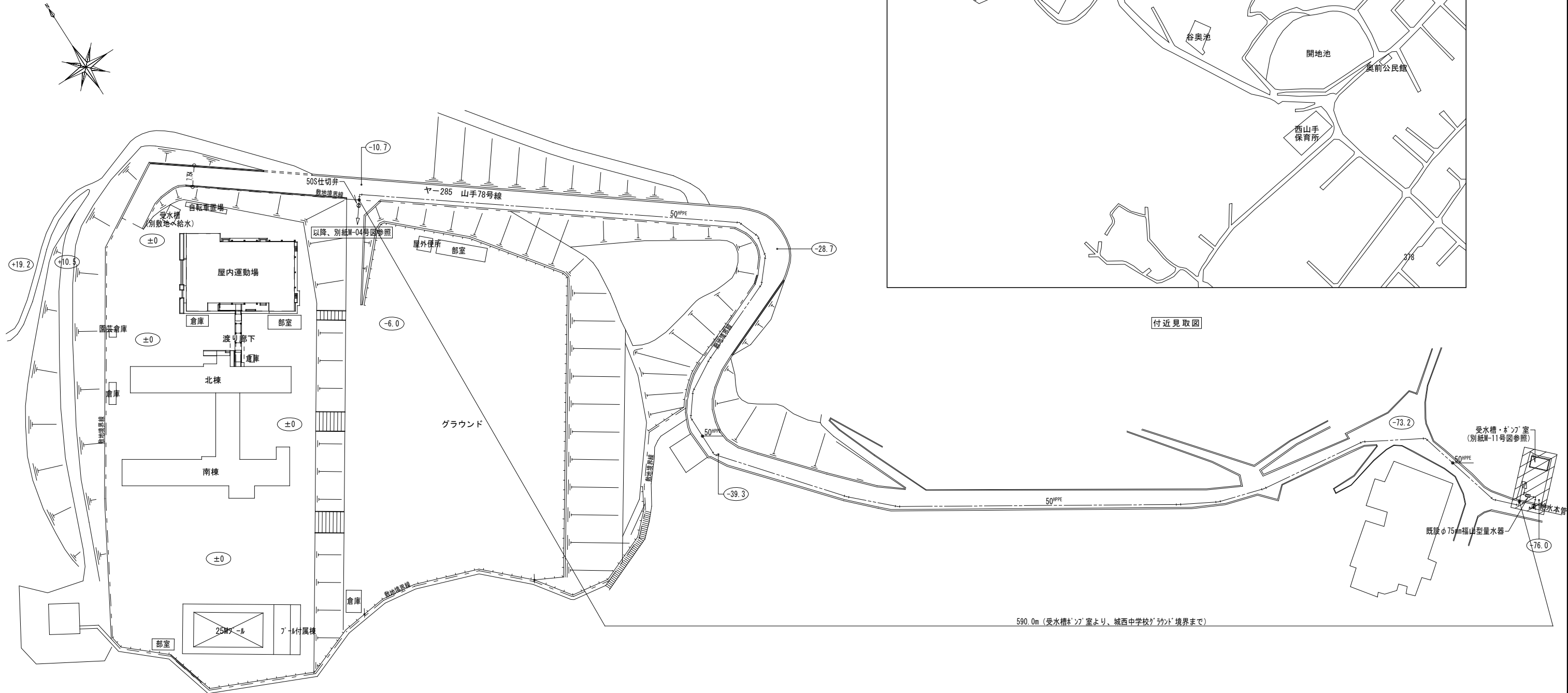
注意事項

- 本工事施工時は校内が断水にならないよう注意する。
やむおえず断水する場合は監督員および学校と協議し決定する。
- 屋外埋設GV(直圧)はJIS10K、管端防食弁(27付)とする。(ねじ込み)
- 弁BOX周辺が在土の場合はモルタル保護を施す。
- 図中 ●印は地中埋設標(鉄製)を示す。(0ヶ所)(平面図参照)
図中 ■印は地中埋設標(コンクリート製)を示す。(5ヶ所)(平面図参照)
施工状況により設置位置、数量は適切に調整・変更する。
- 本図記載の配管および口径は参考とし、工事着手前に調査・確認を行う。
- 本工事は学校を使用しながら施工を行うので学生、教職員の安全通路の確保、工事車両の駐車等に留意する。
- 本工事に支障を与える既設管等の仮撤去・復旧は本工事で行う。
- 消火栓配管及び弁BOX改修時に未警戒の恐れのある箇所については消火器(ABC型)を設置とする。ただし、当該消防局の指示を確認すること。

工事箇所：福山市立城西中学校
住所：福山市山手町3000番地



付近見取図

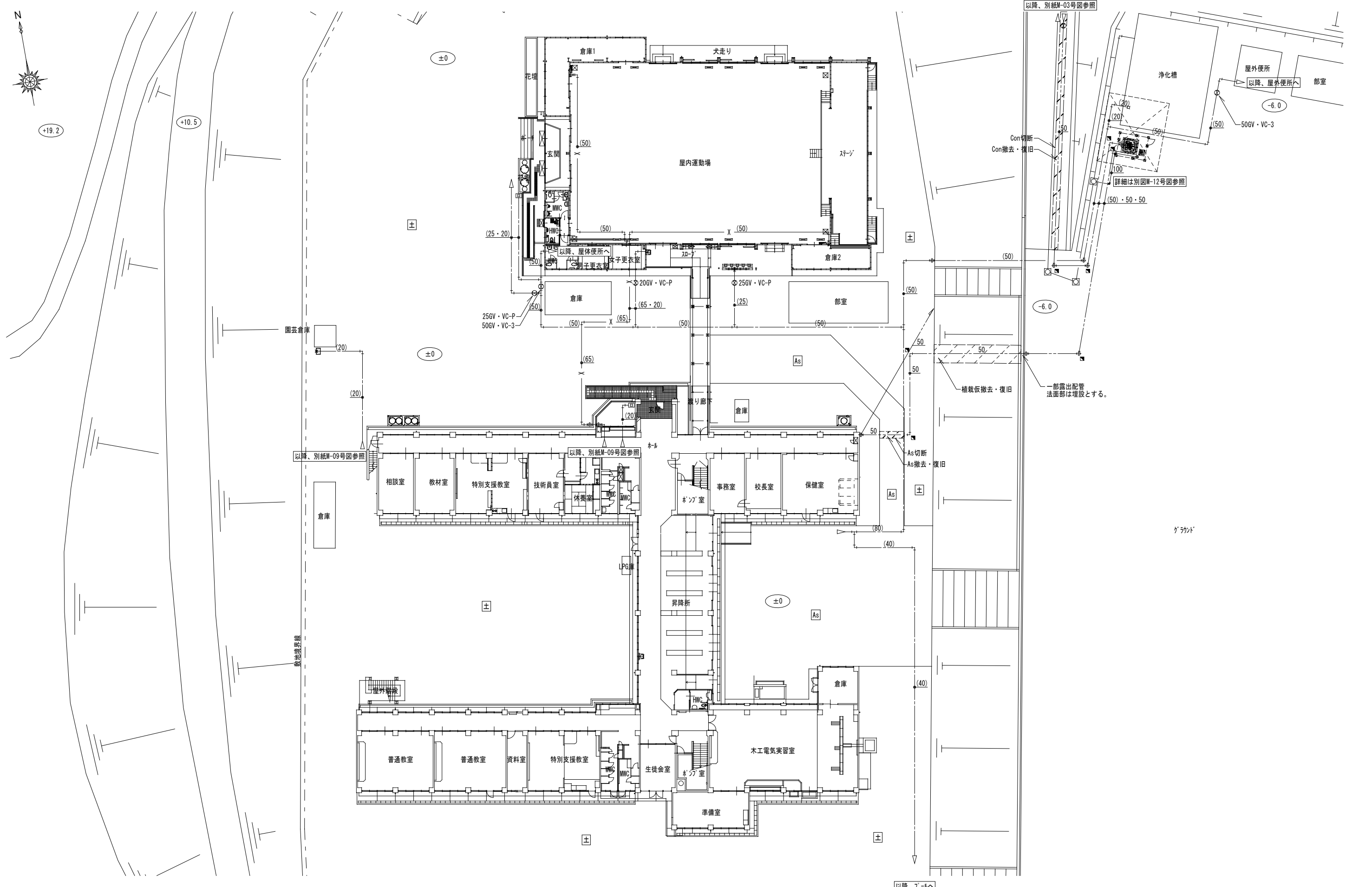


配置図

590.0m(受水槽ポンプ室より、城西中学校グラウンド境界まで)

2023年 12 月 日	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課					

工事名称 福山市立城西中学校給水設備他改修工事		
図面名称 改修後 配置・付近見取図	縮尺 1/1000	図番 M-03
設計 株式会社 ヤマウチ 設備設計事務所登録番号 第1334M0046号 〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役 TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印		

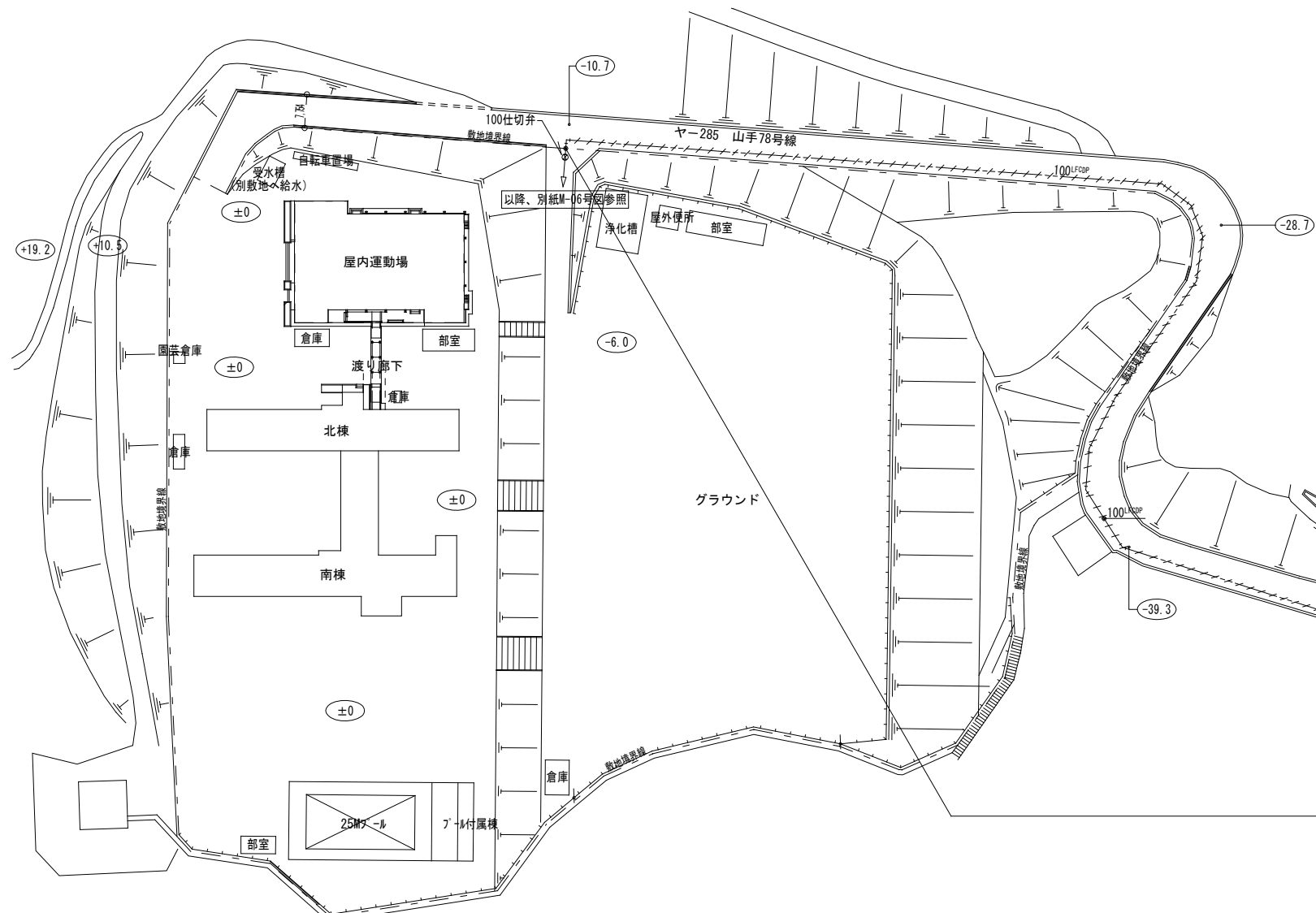
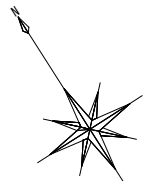


工事名称			
福山市立城西中学校給水設備他改修工事			
図面名称	縮尺	図番	
改修後 配置図 (2)	1/300	M-04	
設計	株式会社 ヤマウチ 設備設計事務所登録番号 第1334M0046号 〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役 TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印		

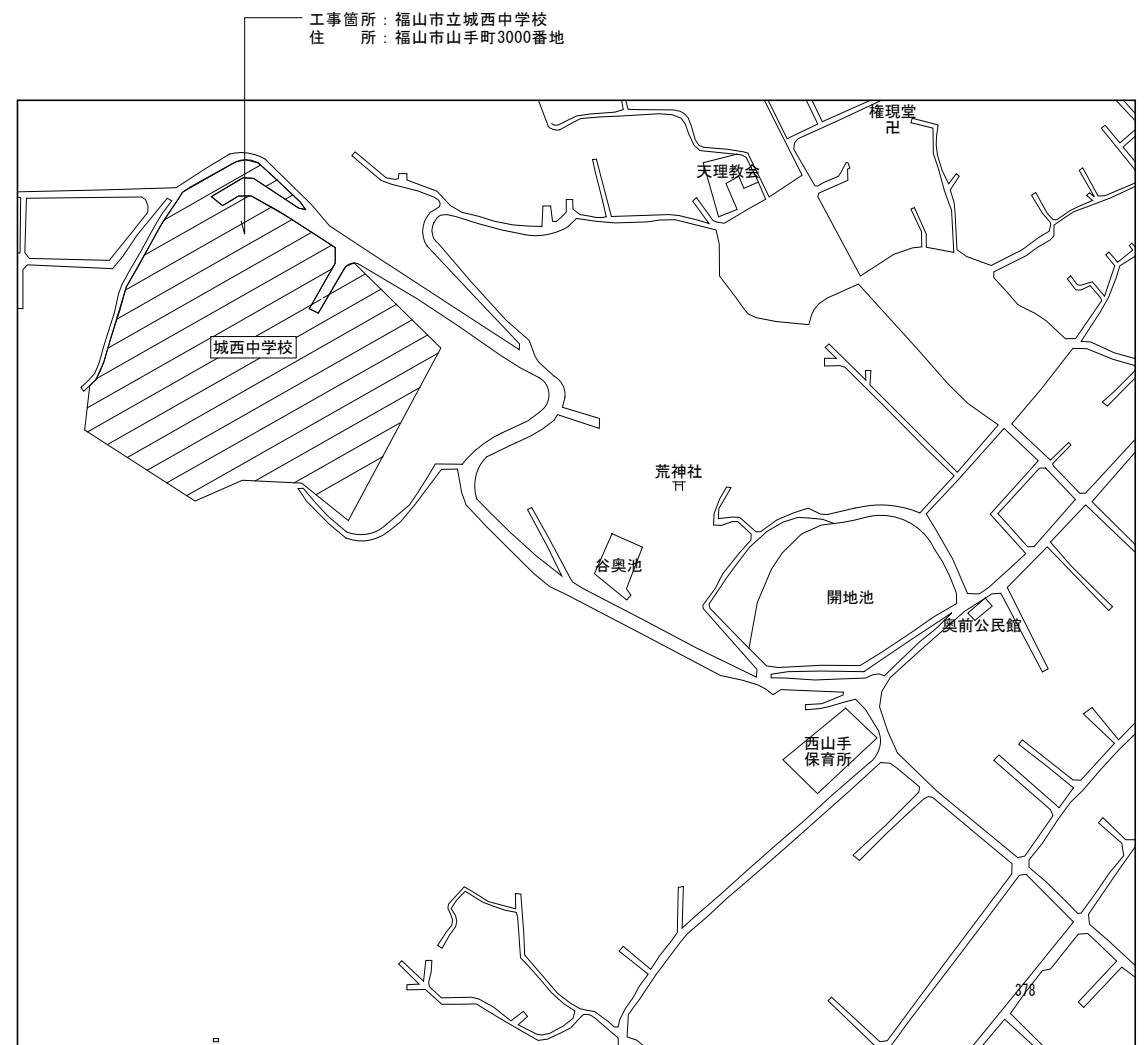
2023年 12 月 日	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課					

凡例

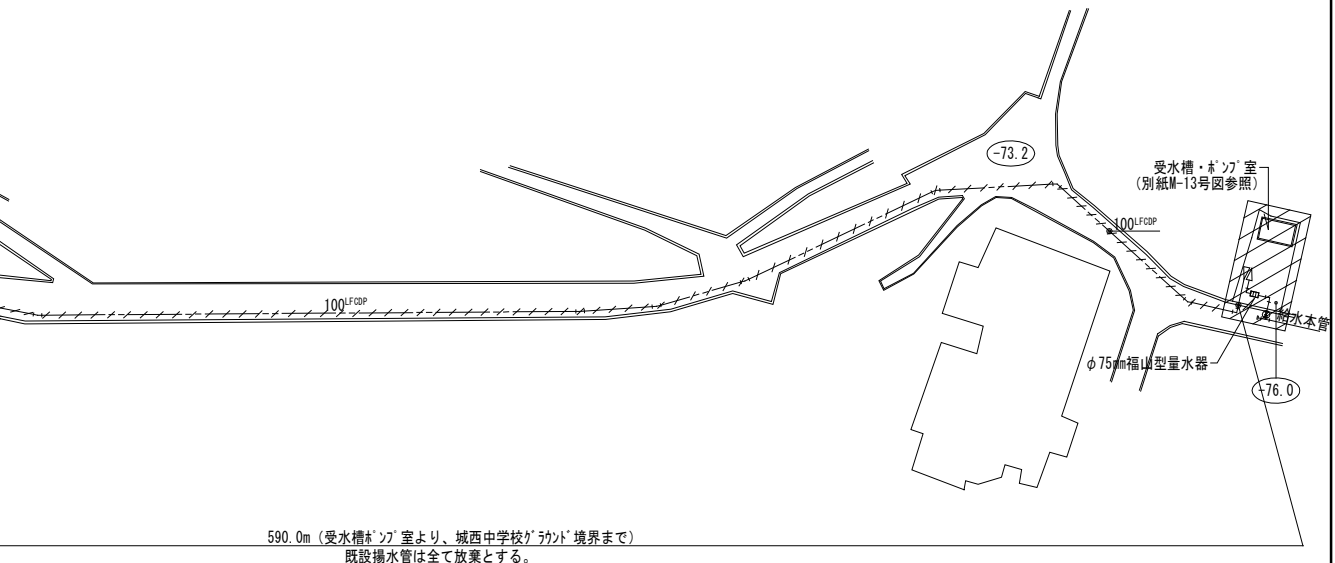
図中記号	備考
—	給水管
- - -	揚水管
X	消火管
D	ドレン管
////	放棄する既設管類
XXXX	撤去する既設管類
●	既設管切断



配置図



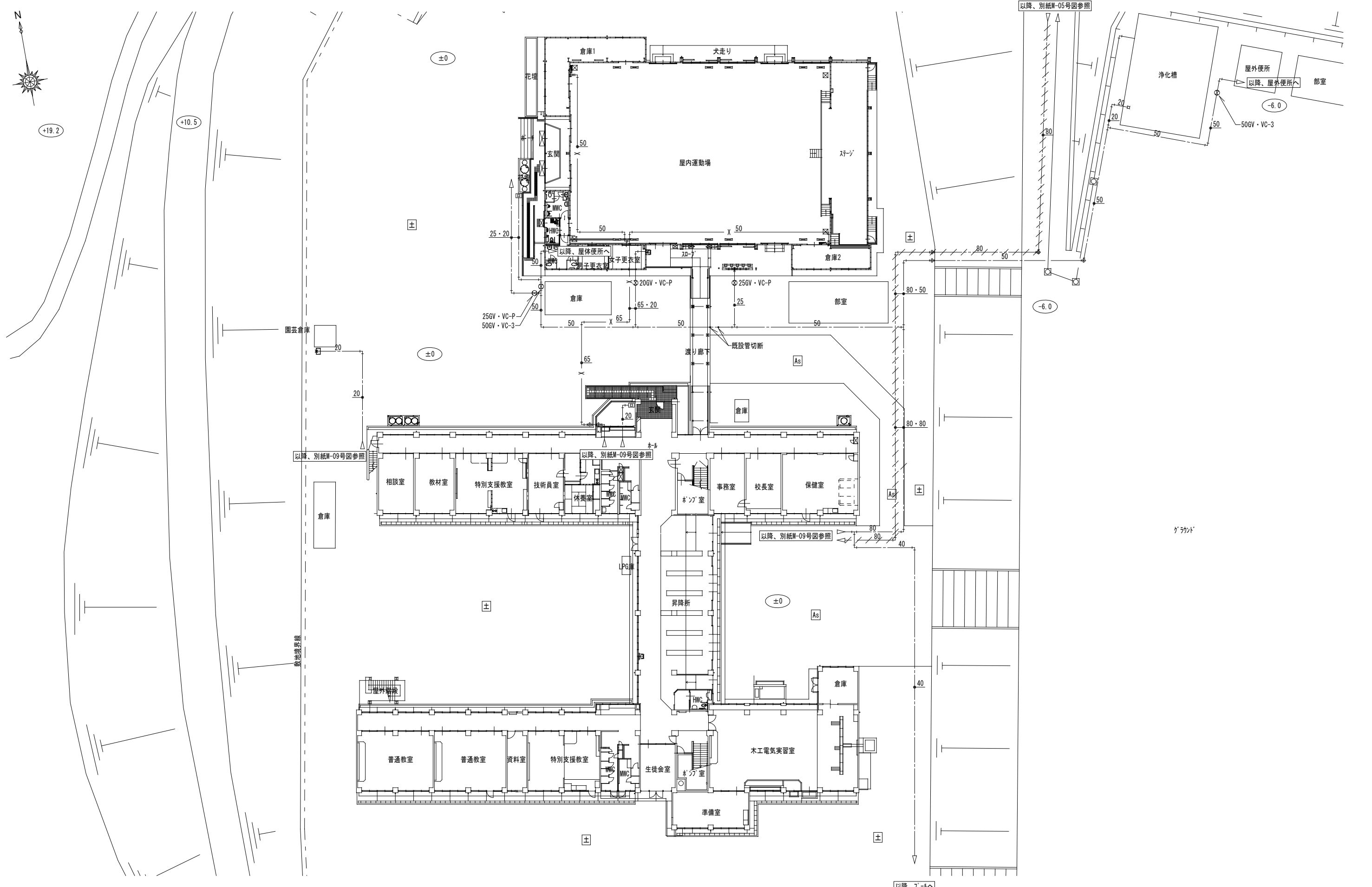
付近見取図



590.0m (受水槽・ポンプ室より、城西中学校グラウンド境界まで)
既設揚水管は全て放棄とする。

2023年 12 月 日	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課					

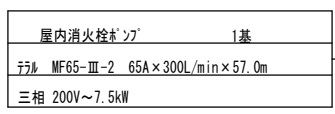
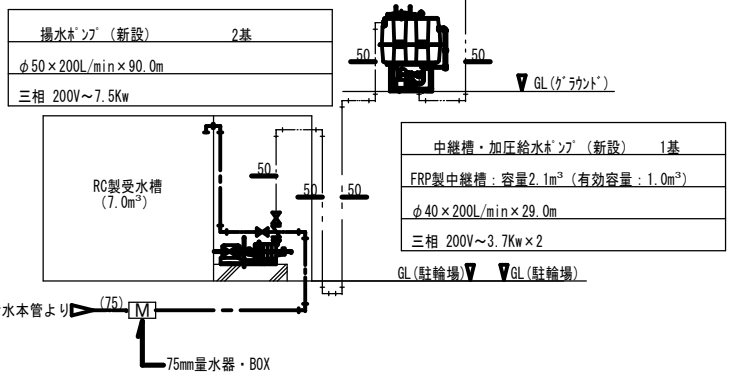
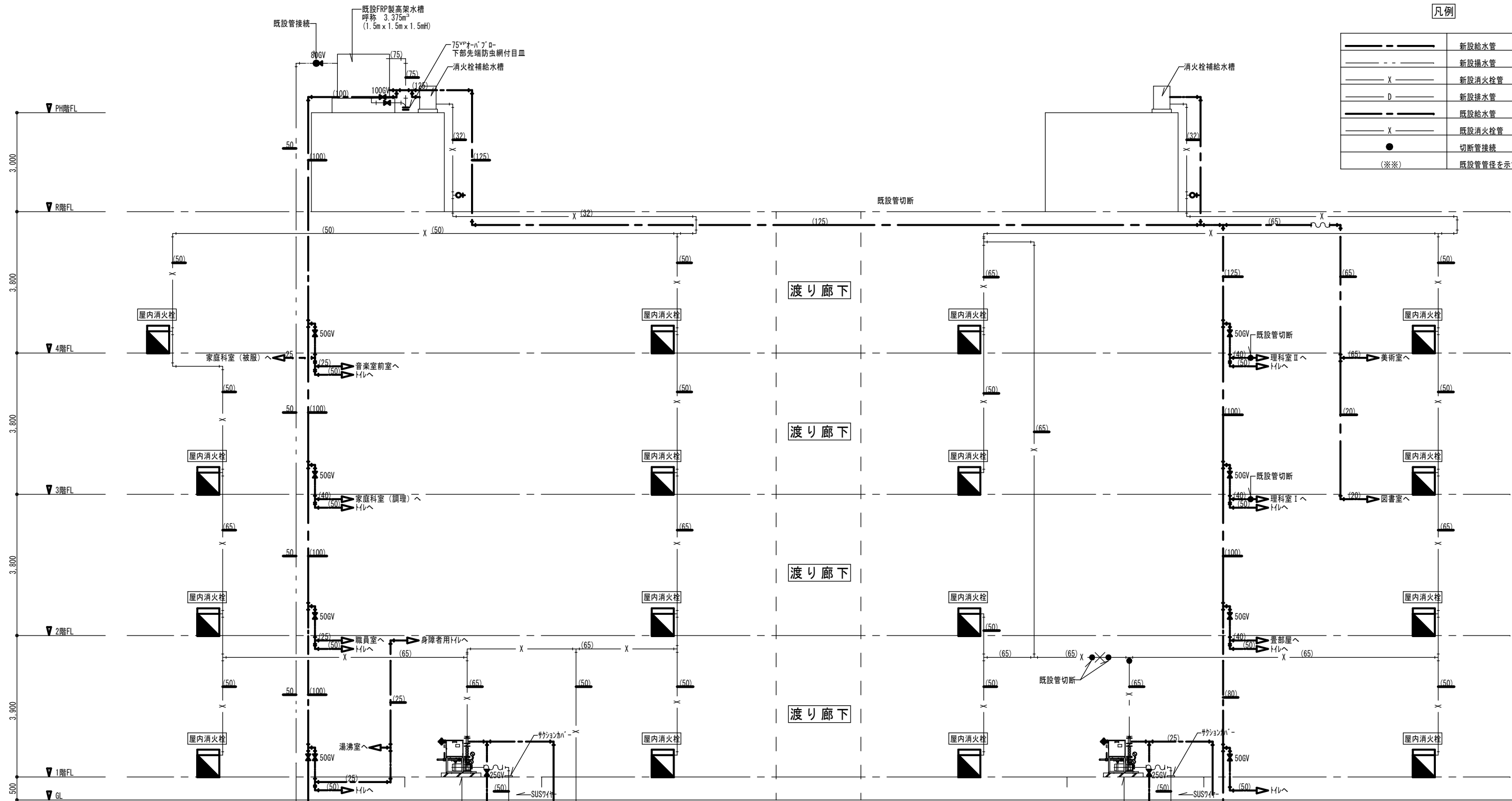
工事名称 福山市立城西中学校給水設備他改修工事		
図面名称 改修前 配置・付近見取図	縮尺 1/1000	図番 M-05
設計 株式会社 ヤマウチ 設備設計事務所登録番号 第1334M0046号 〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役 TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印		



2023年 12 月 日	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課					

工事名称 福山市立城西中学校給水設備他改修工事		
図面名称 改修前 配置図 (2)	縮尺 1/300	図番 M-06
設計 株式会社 ヤマウチ 設備設計事務所登録番号 第1334M0046号 〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役 TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印		

	新設給水管
	新設排水管
	新設消火栓管
	新設排水管
	既設給水管
	既設消火栓管
	切断管接続
(※※)	既設管管径を示す



2023年 12月 日	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課					

工事名称		
福山市立城西中学校給水設備他改修工事		
図面名称	縮尺	図番
改修後 立管系統図	No Scale	M-07
設計 株式会社 ヤマウチ		
設備設計事務所登録番号 第1334M0046号		
〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役		
TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印		

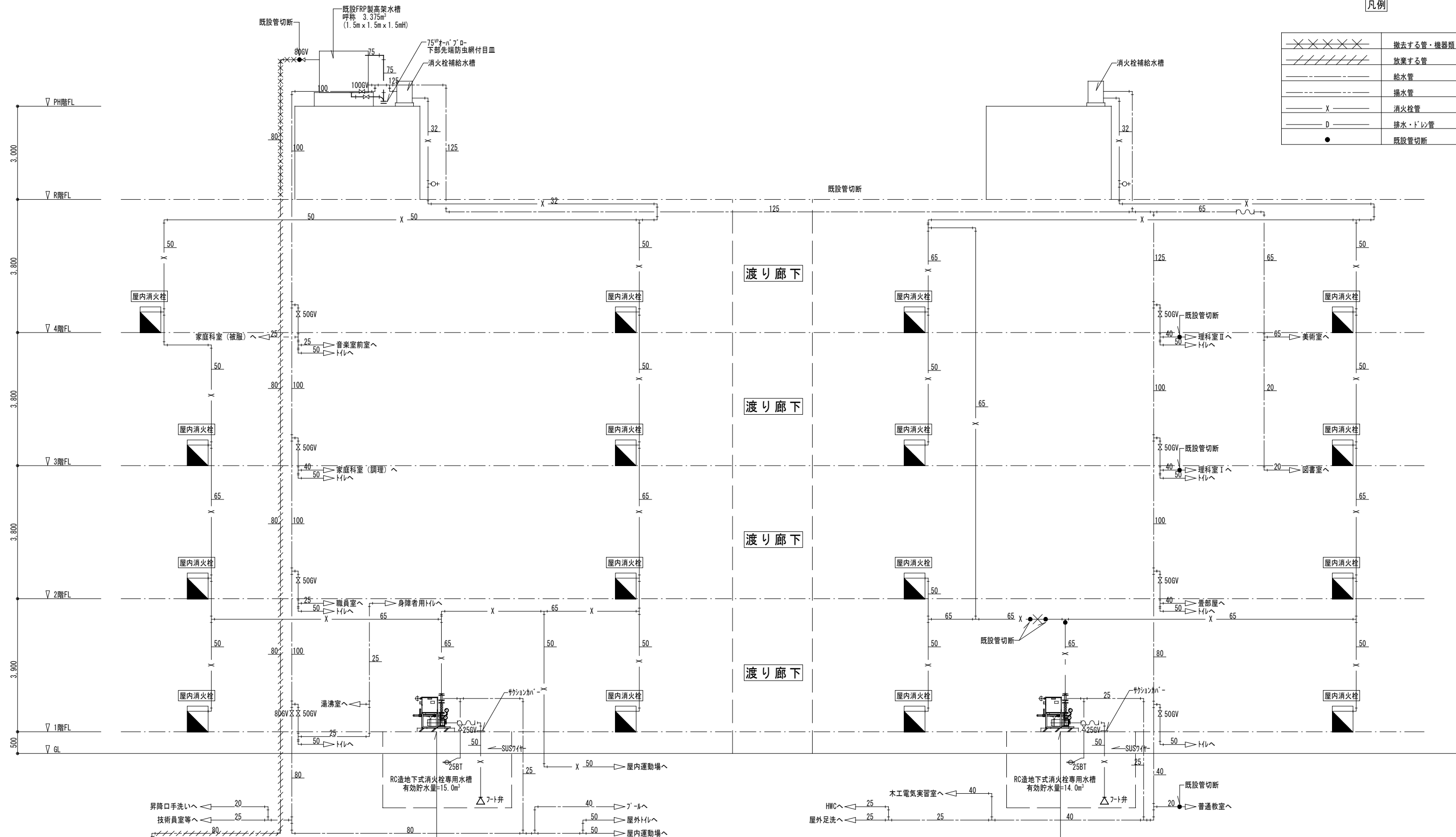
改修前系統図

北棟 * 高架水槽用コンクリート基礎は残置・再利用とし、FRP製高架水槽・配管・弁等付属品・支持金物全て撤去とする。

南棟

凡例

	撤去する管・機器類
	放棄する管
	給水管
	排水管
	消火栓管
	排水・ドレン管
	既設管切断



揚水ポンプ (撤去)	2基
型番	M65-IV-2-15.0kW
三相	200V~15.0kW

屋内消火栓ポンプ	1基
型番	NFX65×50-2-65.5 65A×300L/min×53.0m
三相	200V~5.5kW

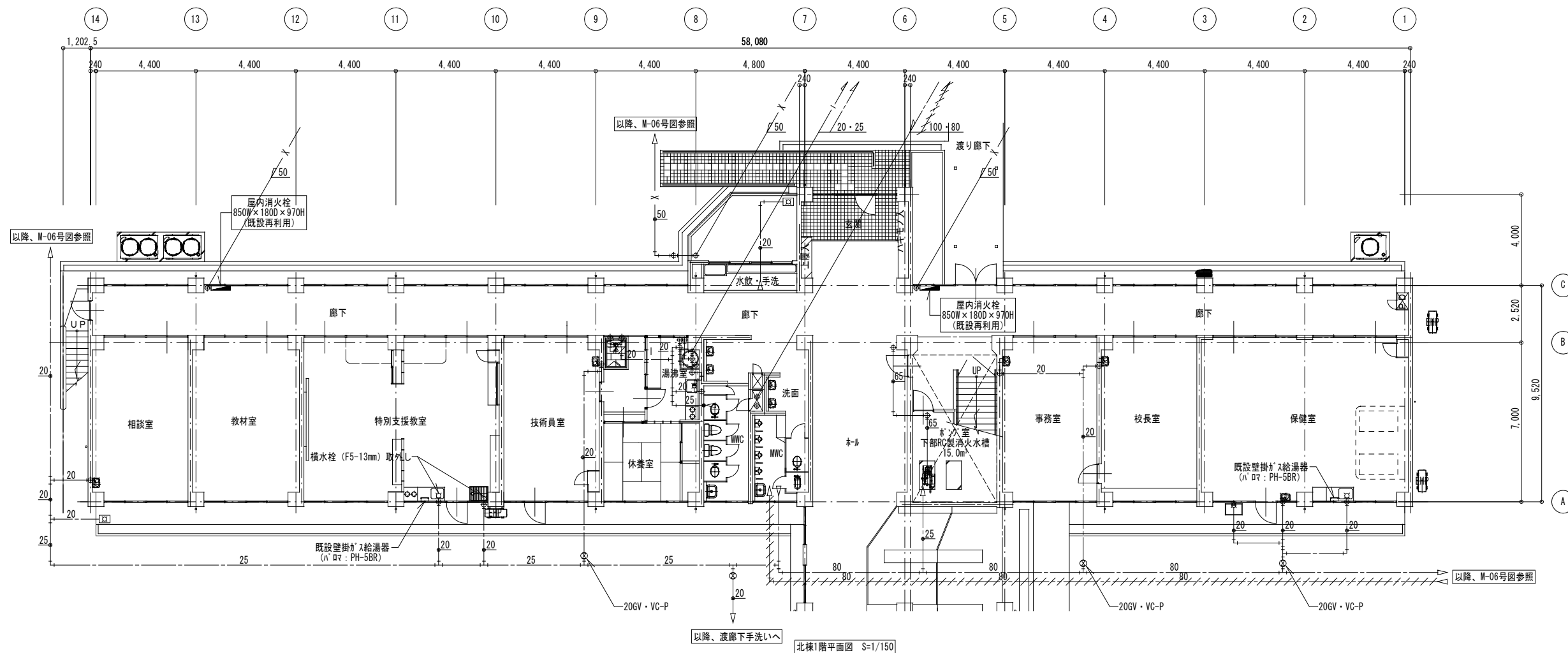
屋内消火栓ポンプ	1基
型番	MF65-III-2 65A×300L/min×57.0m
三相	200V~7.5kW

* 揚水ポンプ用コンクリート基礎は残置・再利用とし、受水槽一次側配管も再利用とする。揚水ポンプ以降の露出管および付属品、薬注装置は全て撤去とする。

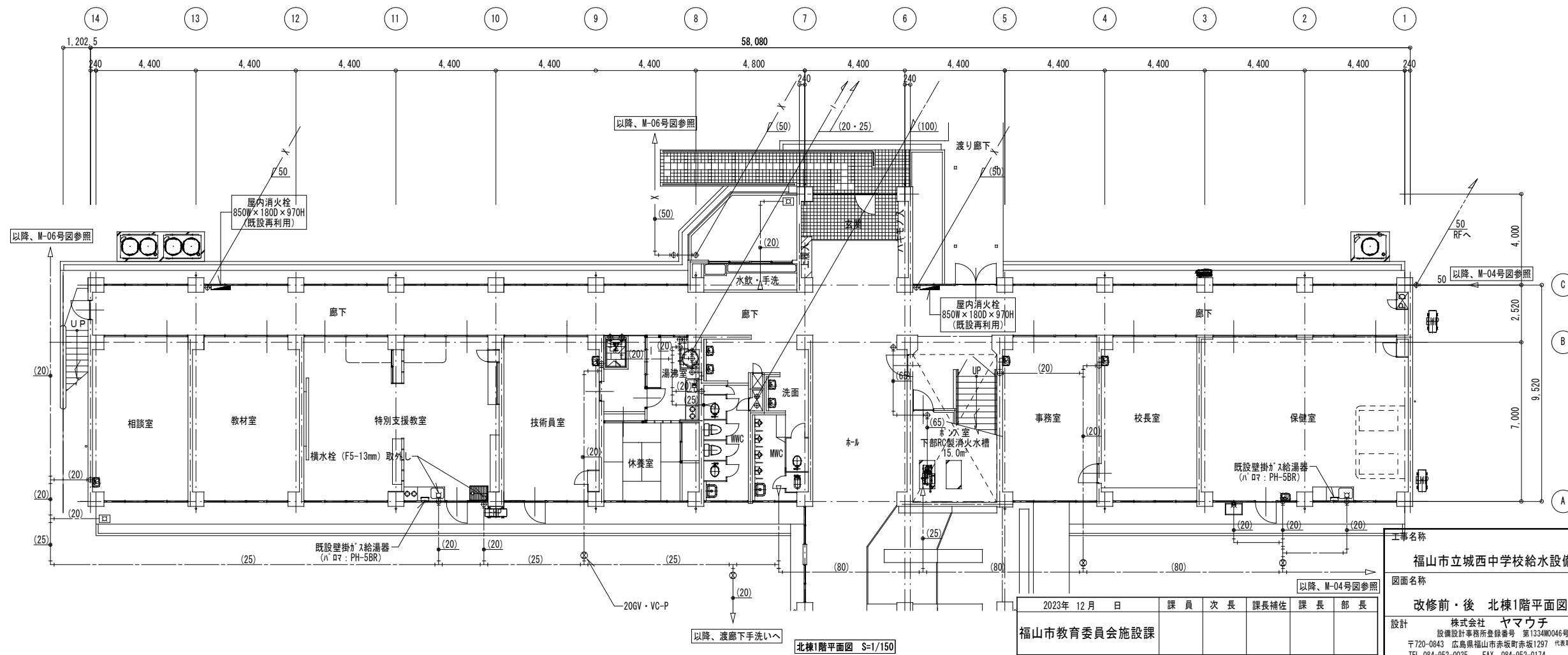
2023年 12月 日	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課					

工事名称		
福山市立城西中学校給水設備他改修工事		
図面名称	縮尺	図番
改修前 立管系統図	No Scale	M-08
設計 株式会社 ヤマウチ		
設備設計事務所登録番号 第1334M0046号		
〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役		
TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印		

改修前

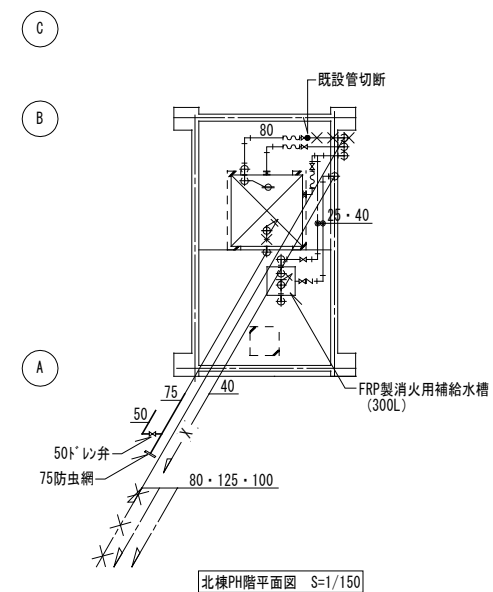
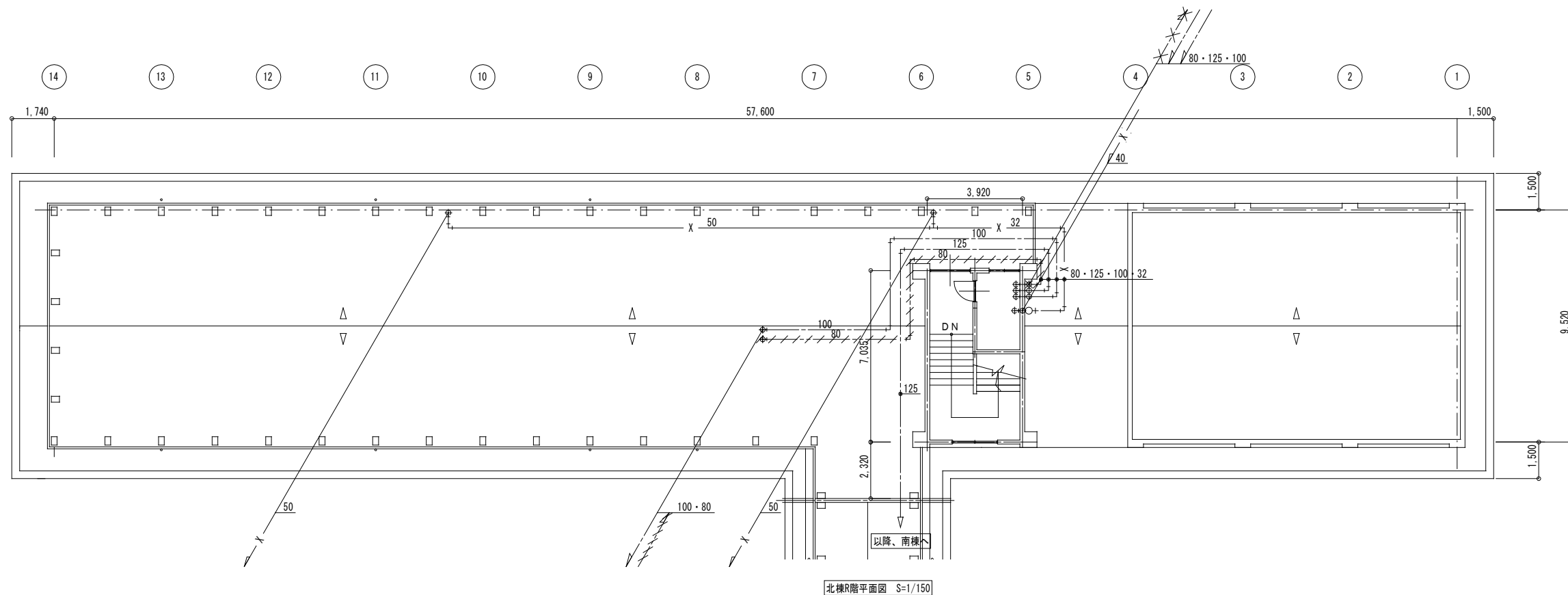


改修後

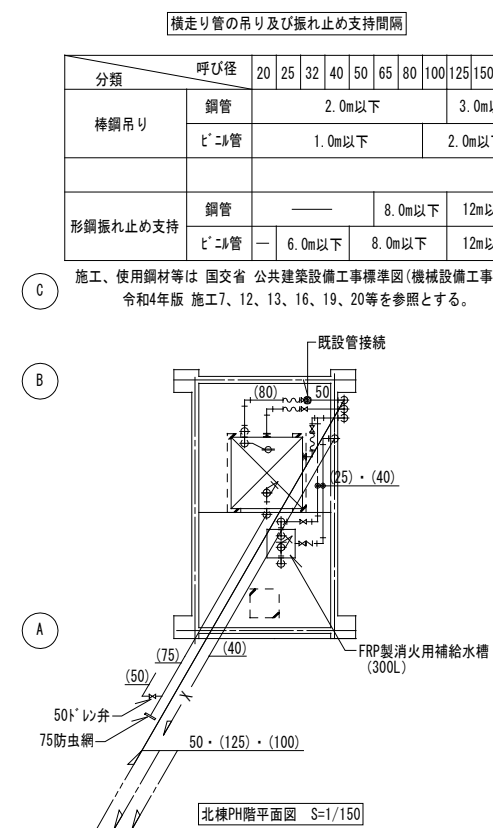
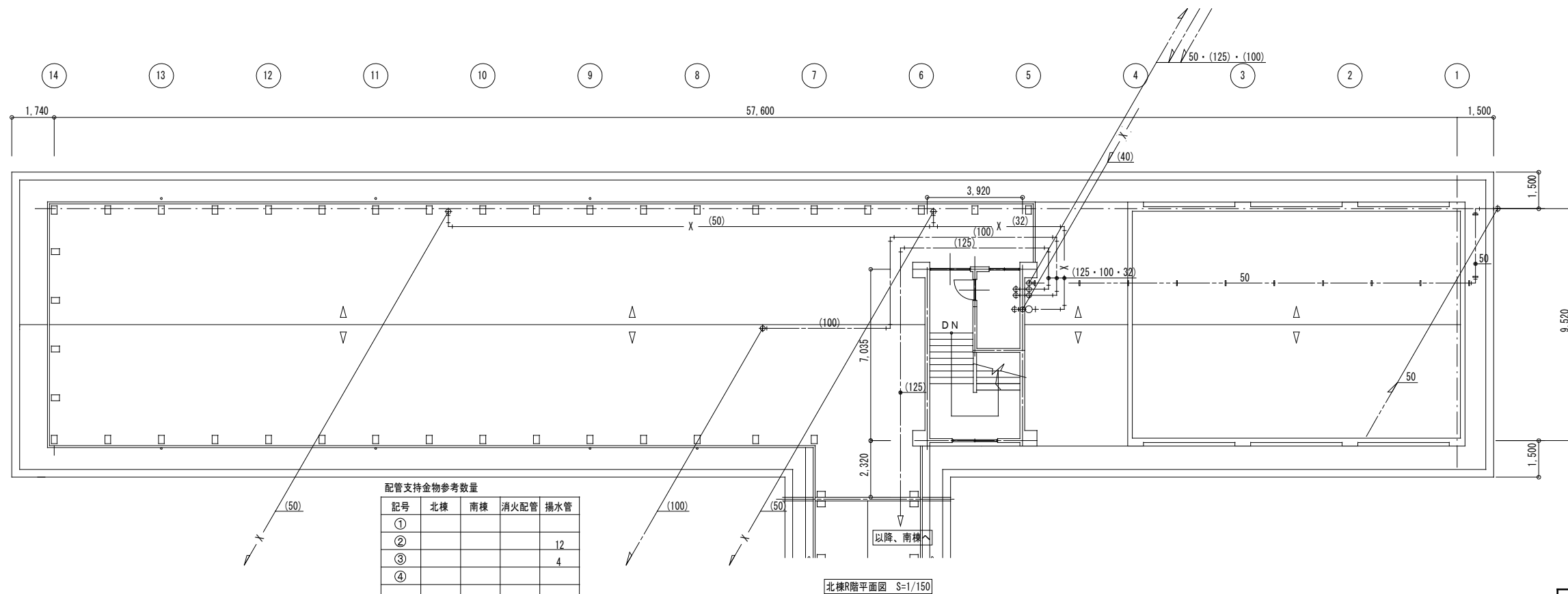


2023年 12月 日					課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課									
工事名称 福山市立城西中学校給水設備他改修工事									
図面名称 改修前・後 北棟1階平面図								縮尺	図番
								1/150	M-09
設計 株式会社 ヤマウチ 設備設計事務所登録番号 第1334M0046号 〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役 TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印									

改修前

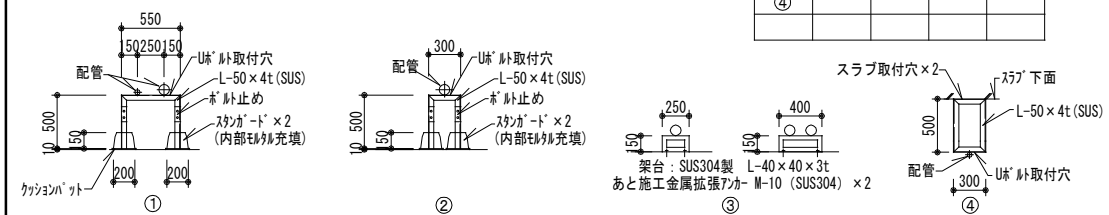


改修後



配管支持金物参考数量

記号	北棟	南棟	消火配管	揚水管
①				12
②				4
③				
④				



1. 屋外、渡り廊下設置の架台・支持金物はSUS-304とする。
2. 架台寸法は参考とし、現地確認の上、適切に変更しても良い。(市販品も可)
3. 壁面及び床面取付器具は、M10取付穴明とする。
4. 配管取付部は、U# 肘取付穴W3/8穴明とする。
5. U# 肘は、すべてSUS製とする。
6. 架台受台及び施工方法、部材名称は参考とし、限定するものではない。

横走り管の吊り及び振れ止め支持間隔

分類	呼び径	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	
棒鋼吊り	鋼管	2.0m以下								3.0m以下			
	ビニル管	1.0m以下								2.0m以下			
形鋼振れ止め支持	鋼管	—						8.0m以下		12m以下			
	ビニル管	—						6.0m以下		8.0m以下		12m以下	

施工、使用鋼材等は 国交省 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 令和4年版 施工7、12、13、16、19、20等を参照とする。

2023年 12月 日	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課					

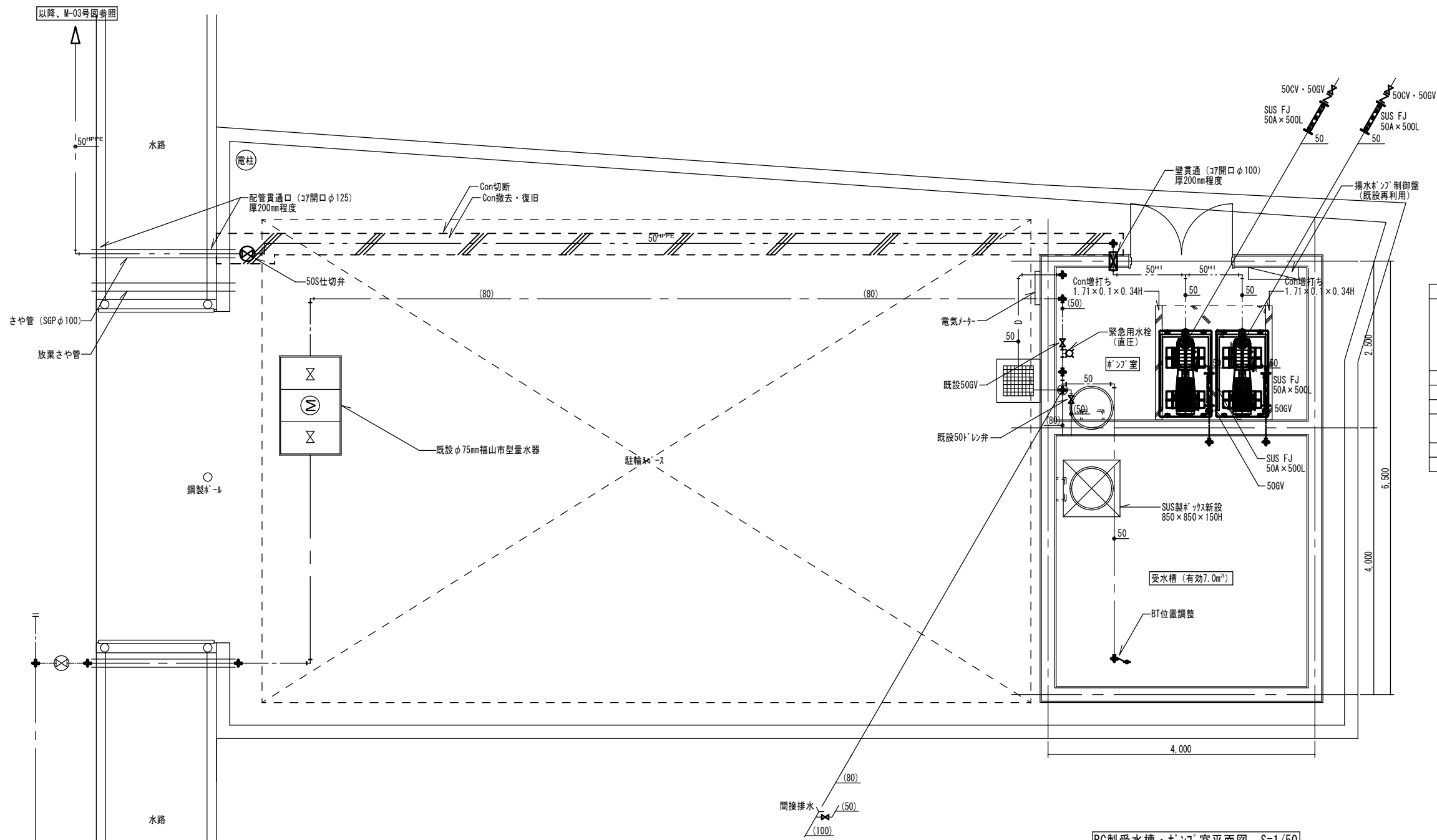
工事名称
福山市立城西中学校給水設備他改修工事

図面名称
改修前・後 北棟R・PH階平面図

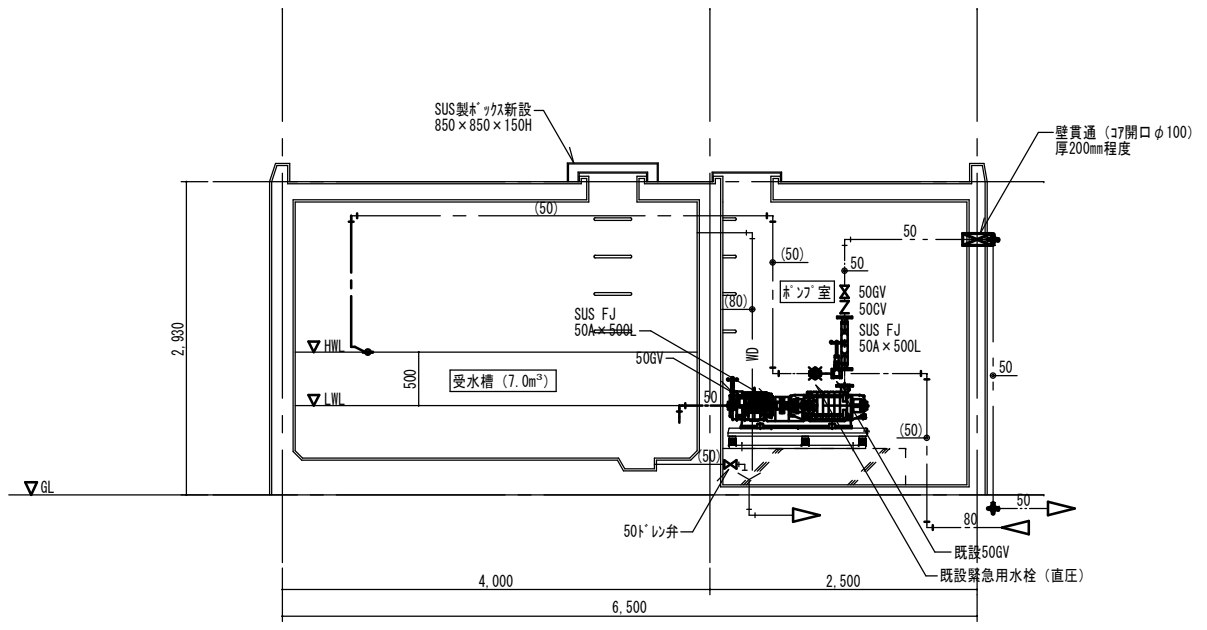
縮尺
1/150

図番
M-10

設計
株式会社 ヤマウチ
設備設計事務所登録番号 第1334M0046号
〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役
TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印



RC製受水槽・ポンプ室平面図 S=1/50



RC製受水槽・ポンプ室立面図 S=1/50

新設揚水ポンプ仕様

* 本表数値は参考を示したもので製造者を限定したものではありません。

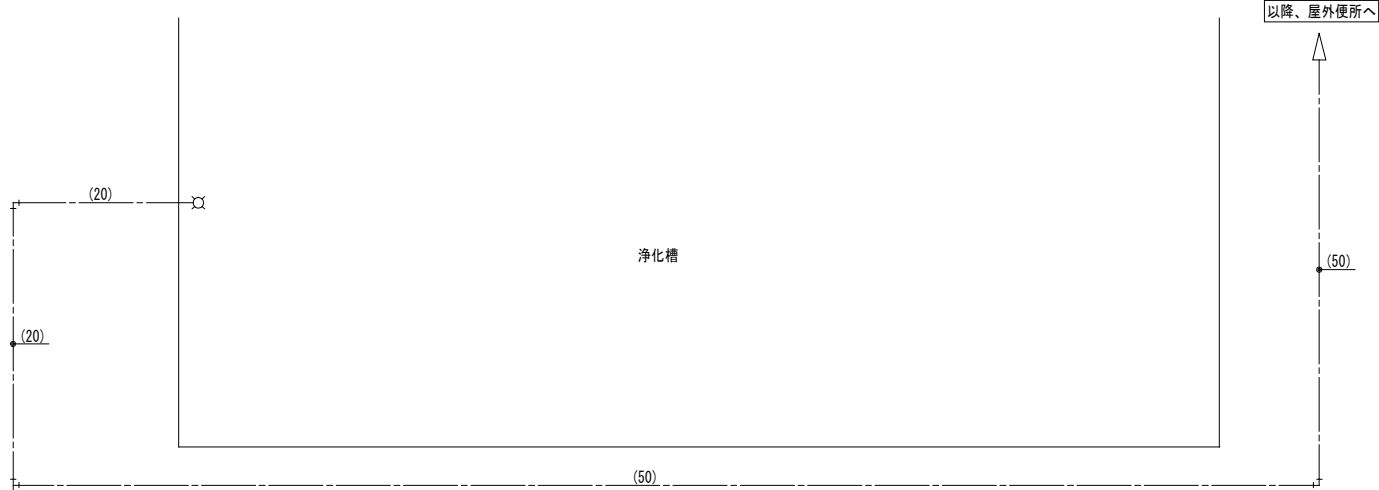
仕様	SUS製多段ポンプの仕様
	全閉外扇屋内形
	全揚程 99.4m
	吐出し量 200L/min
能力	同期回転速度 1800min ⁻¹
	極数 4P
電源	Φ50×200.0L/min×90.0mH
電動機出力	三相 200V
主付属品	11.0kW
	SUS製ケーブル、ケーブル、ケーブル(ケーブルはW締めとする)
コンクリート基礎	SUS製ポンプ台
	防振架台
重量	既設コンクリート基礎(再利用)、一部増打ち
	286.0kg/台

揚水ポンプ廻り配管付属品

弁種類	個数
50GV	4
50CV	2
50SUS-FJ (500L)	4

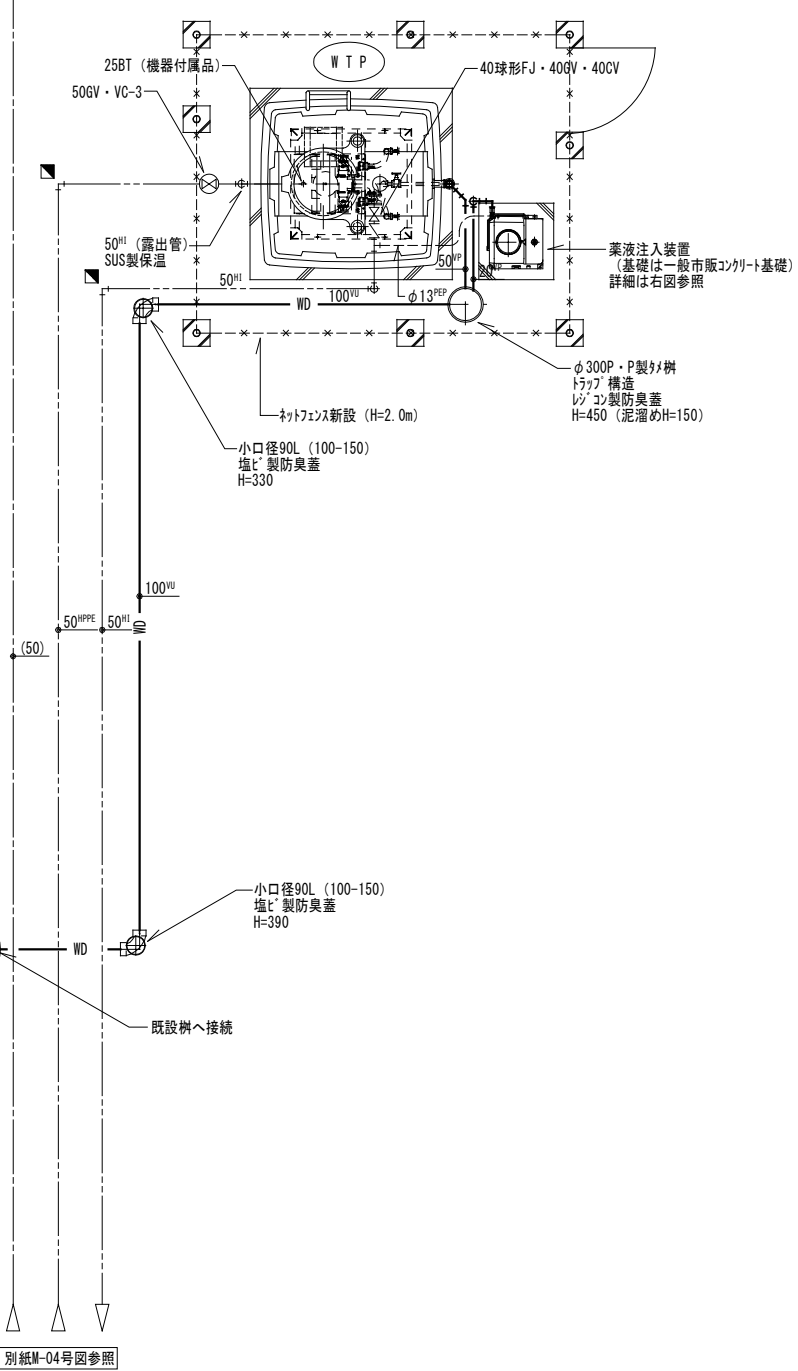
2023年 12月 日	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課					

工事名称			
福山市立城西中学校給水設備他改修工事			
図面名称	縮尺	図番	
改修後 受水槽廻り配管詳細図	1/50	M-11	
設計			
株式会社 ヤマウチ			
設備設計事務所登録番号 第1334M0046号			
〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役			
TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印			

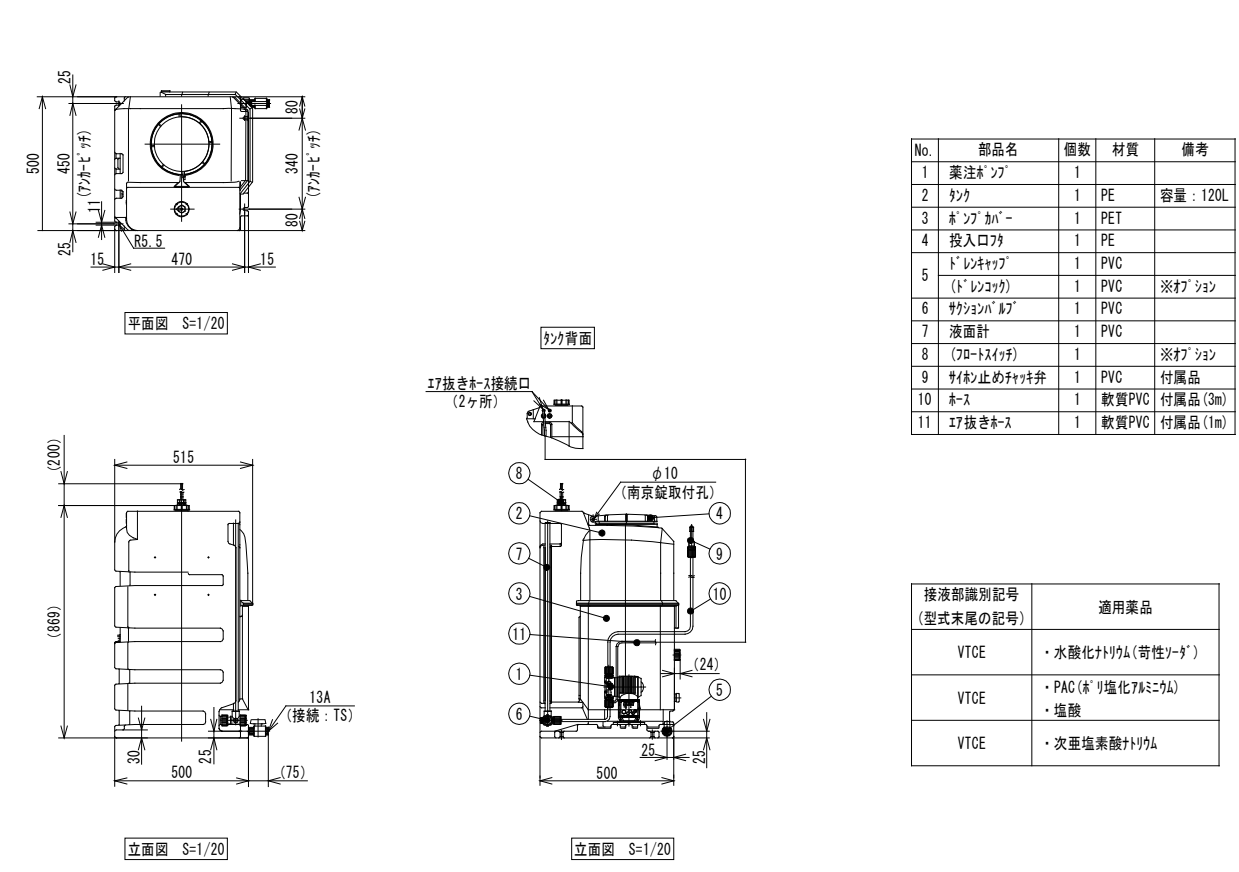


凡例

記号	仕様
VB	内面硬質塩化ビニル鋼管 (屋内外露出部給水管)
HI	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (地中埋設部給水管)
VP	硬質塩化ビニル管 (排水管)
VU	硬質塩化ビニル管 (排水管)
GV	仕切弁 (ゲート弁) 特記ないドレン弁は125H型とする。
BT	単式プラスチック製ゲート弁
球形FJ	球形プラスチック継手 (ゴム製)
■	コンクリート製地中埋設

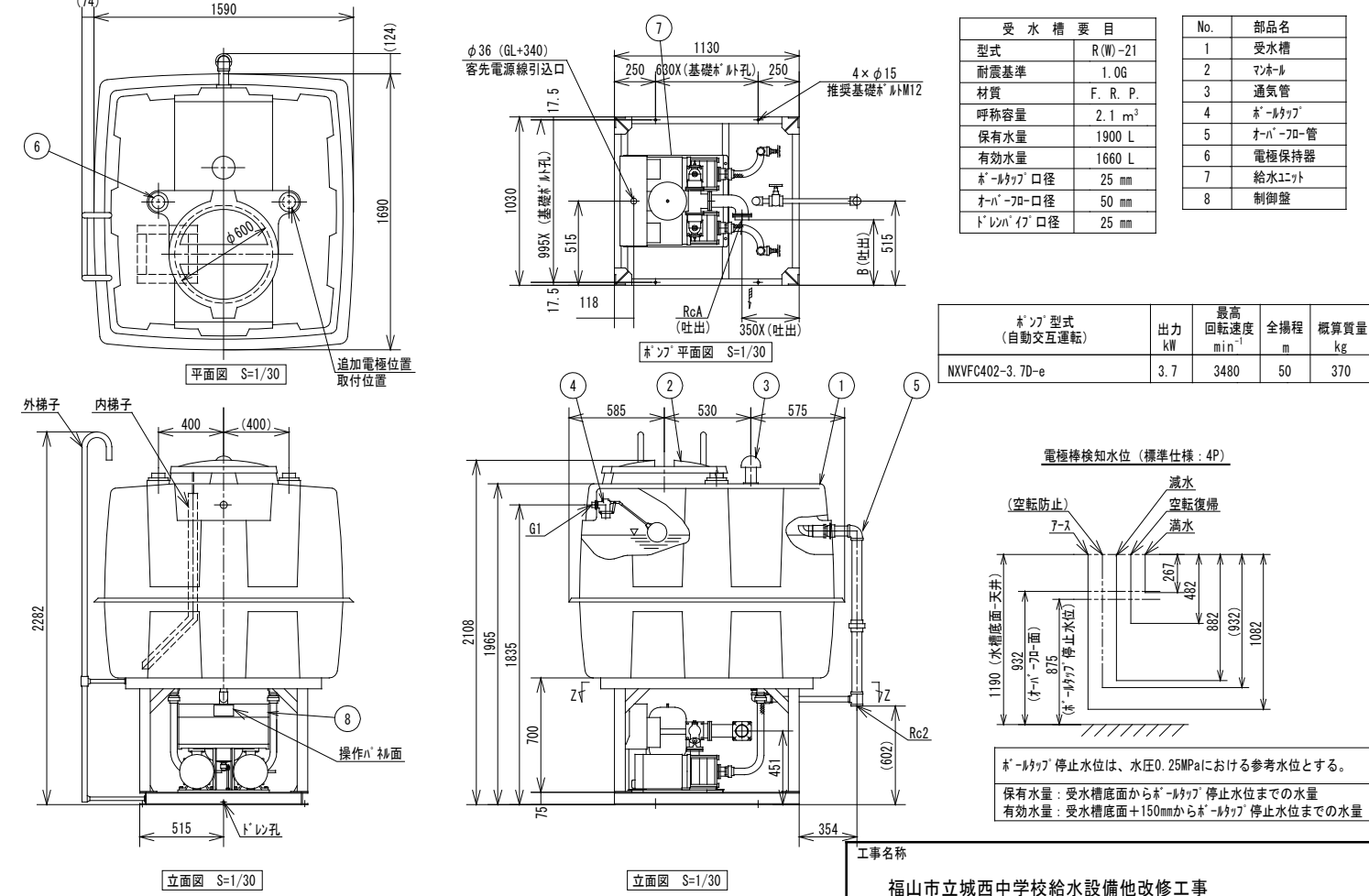


図中記号	WTP
名称	受水槽付き加圧給水ポンプ
受水槽容量	2.1m³ (有効水量: 1.0m³)
運転方法	自動交互運転
電源	三相200V
電動機出力	3.7kW × 2台
計画吐出量・全揚程	最大 200L/分 × 29.0m H
主付属品	制御盤・SUS製GV・CV、凍結防止t-t SUS製70℃熱・防振架台等共一式
参考型式	777 R-NXVFC402-3.7D-e
数量	1基
重量	370.0kg/基
基礎	コンクリート製基礎 (GL+100程度) 1890 × 1790 × 200



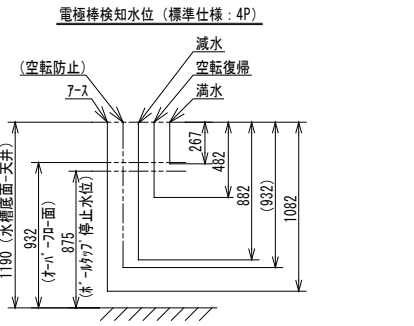
No.	部品名	個数	材質	備考
1	薬液タンク	1		
2	タンク	1	PE	容量: 120L
3	ポンプカバー	1	PET	
4	投入口カバー	1	PE	
5	ドレンキャップ (ドレンコック)	1	PVC	※材質
6	パッキン	1	PVC	
7	液面計	1	PVC	
8	70ドレンコック	1		※材質
9	ゲート止めゲート弁	1	PVC	付属品
10	ホース	1	軟質PVC	付属品 (3m)
11	77抜きホース	1	軟質PVC	付属品 (1m)

接続部識別記号 (型式末尾の記号)	適用薬品
VTCE	・水酸化ナトリウム (苛性ソーダ)
VTCE	・PAC (ポリ塩化アルミニウム) ・塩酸
VTCE	・次亜塩素酸ナトリウム



受水槽要目		No.	部品名
型式	R(W)-21	1	受水槽
耐震基準	1.0G	2	アングル
材質	F. R. P.	3	通気管
呼称容量	2.1 m³	4	ホース
保有水量	1900 L	5	オーバードラム
有効水量	1660 L	6	電極保持器
ホース径	25 mm	7	給水ユニット
オーバードラム径	50 mm	8	制御盤
ドレンパイプ径	25 mm		

ポンプ型式 (自動交互運転)	出力 kW	最高回転速度 min⁻¹	全揚程 m	概算質量 kg
NXVFC402-3.7D-e	3.7	3480	50	370



ホース径停止水位は、水圧0.25MPaにおける参考水位とする。
 保有水量: 受水槽底面からホース径停止水位までの水量
 有効水量: 受水槽底面+150mmからホース径停止水位までの水量

2023年 12月 日	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課					

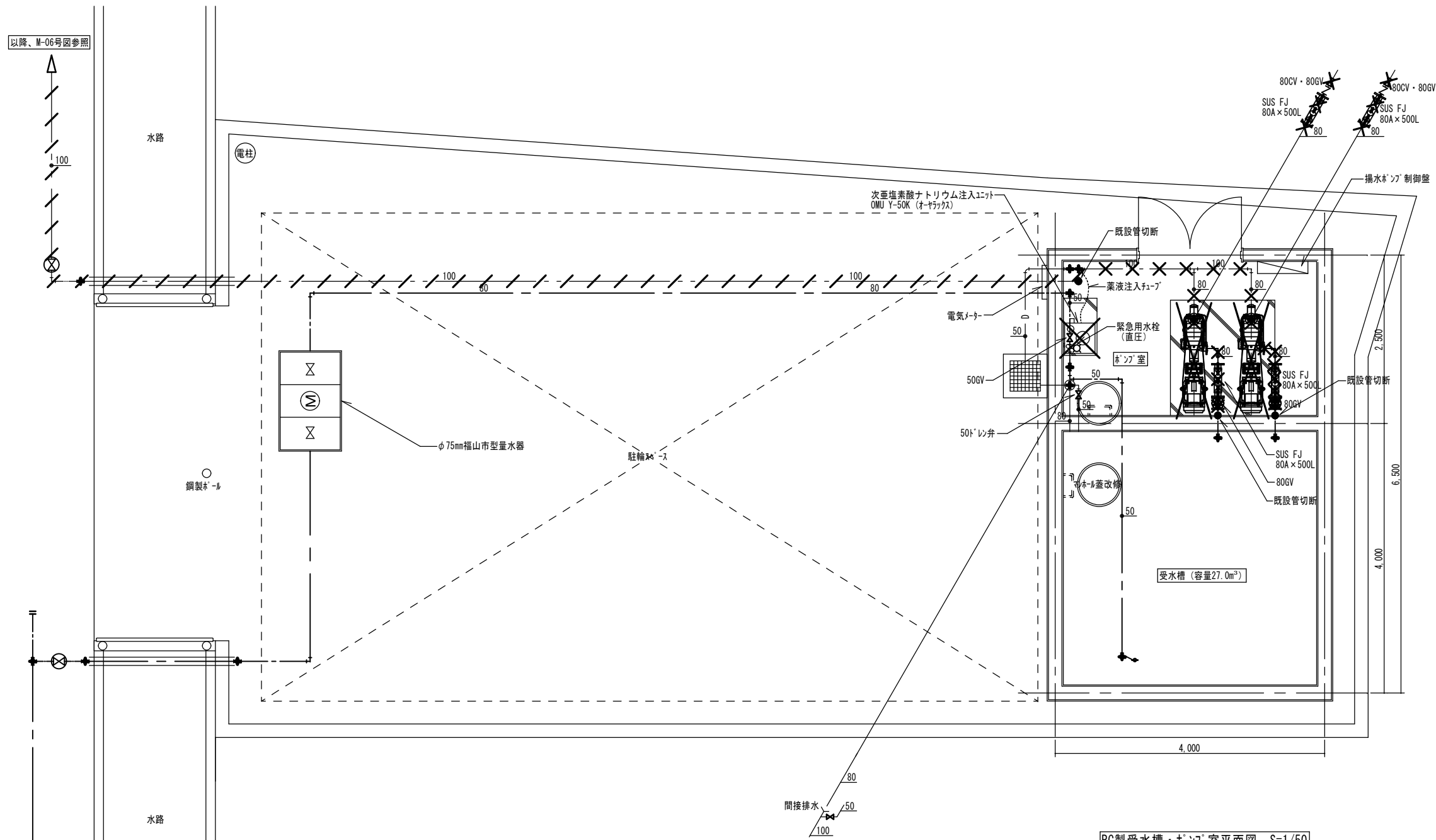
工事名称
福山市立城西中学校給水設備他改修工事

図面名称
中継槽配管詳細図
薬液注入装置・中継槽・中継ポンプ参考図

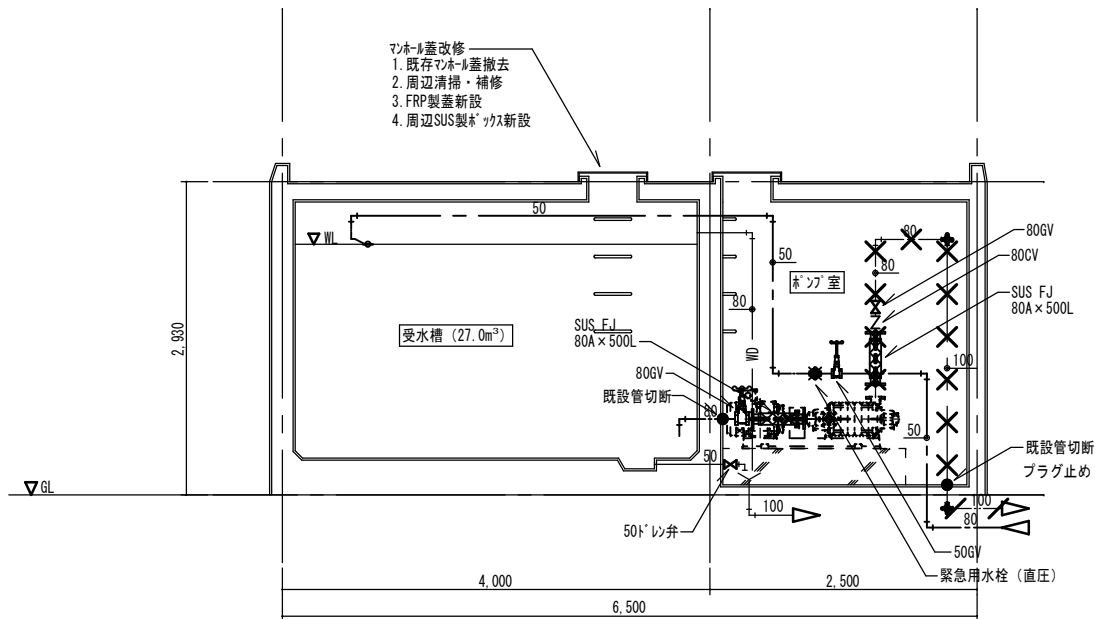
縮尺
1/20.30.50

図番
M-12

設計
株式会社 ヤマウチ
設備設計事務所登録番号 第1334M0046号
〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役
TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印



RC製受水槽・ホップ室平面図 S=1/50



RC製受水槽・ホップ室立面図 S=1/50

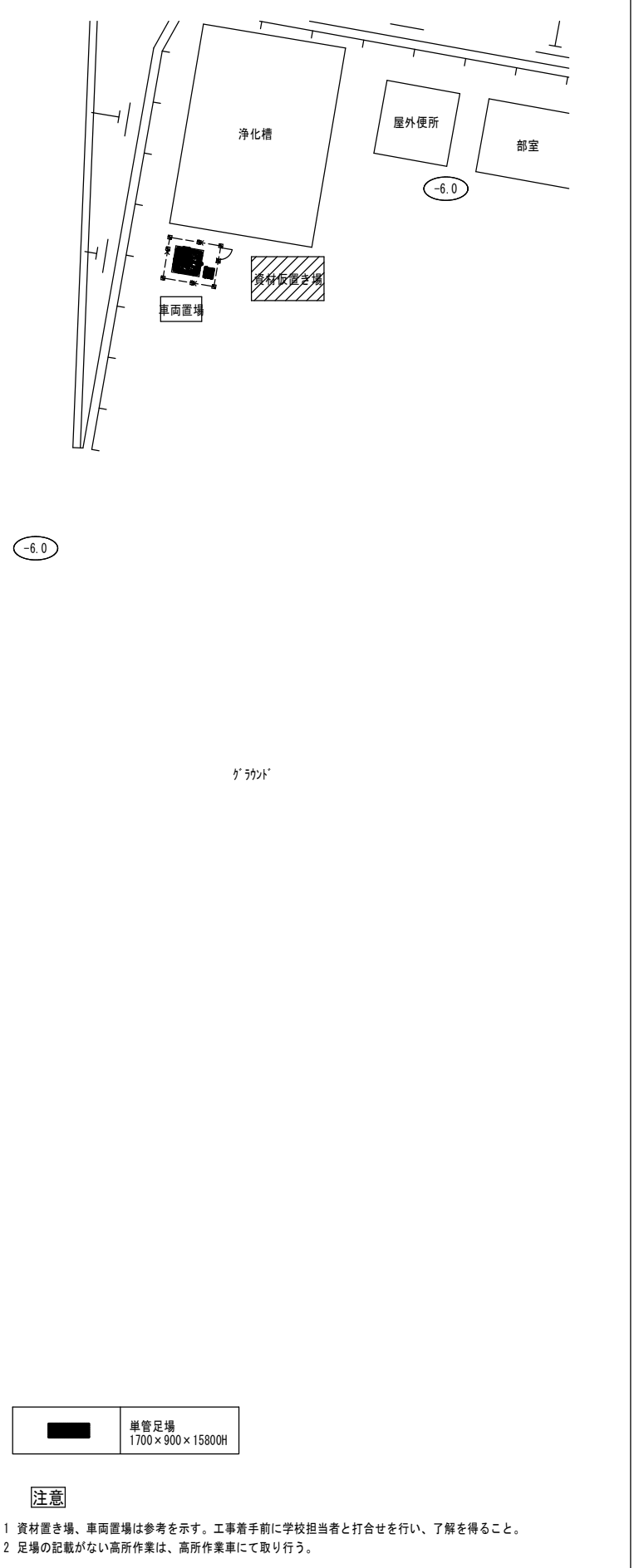
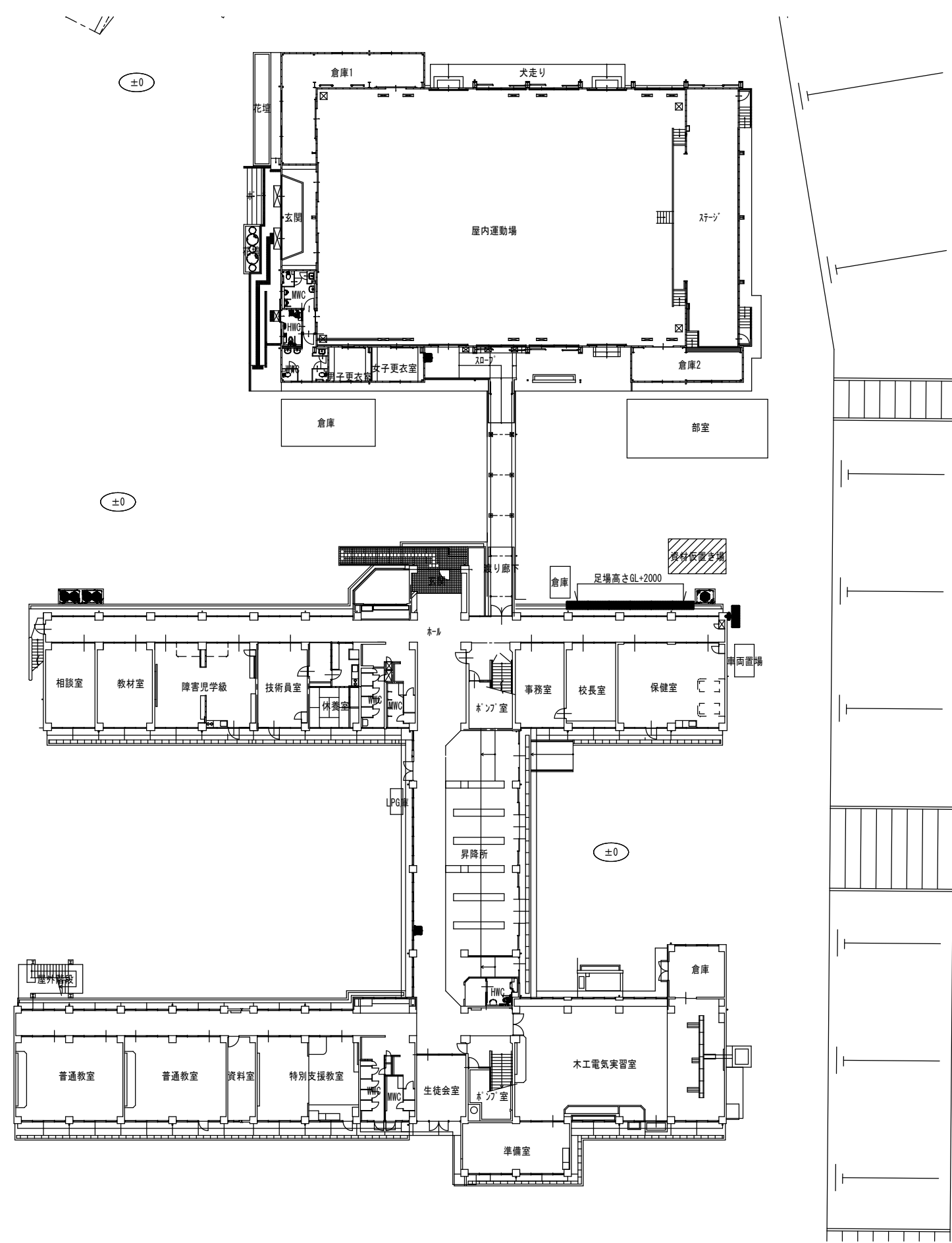
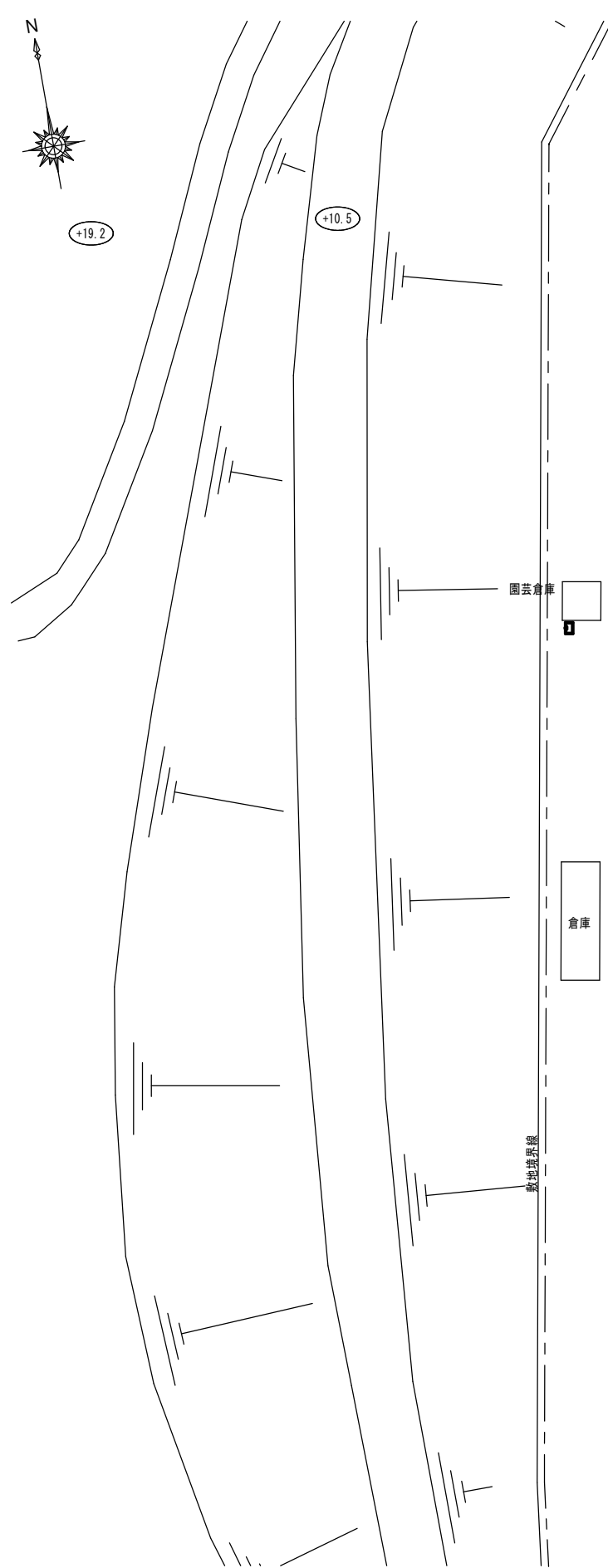
撤去機器一覧

機器	数量	備考
揚水ホップ	2	チラ M65-IV-2-15.0kW 328.0kg
薬液注入ホップ	1	オキテックス OMU Y-50K 10.0kg
80A SUS-FJ	4	500L
80GV	4	
80CV	2	

- マンホール蓋改修
 1. 既存マンホール蓋撤去
 2. 周辺清掃・補修
 3. FRP製蓋新設
 4. 周辺SUS製ホップ新設

2023年 12月 日	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課					

工事名称 福山市立城西中学校給水設備他改修工事		
図面名称 改修前 受水槽廻り配管詳細図	縮尺 1/50	図番 M-13
設計 株式会社 ヤマウチ 設備設計事務所登録番号 第1334M0046号 〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役 TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印		



仮設計画図

- 注意**
- 資材置き場、車両置場は参考を示す。工事着手前に学校担当者と打合せを行い、了解を得ること。
 - 足場の記載がない高所作業は、高所作業車にて取り行う。

2023年 12 月 日	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会施設課					

工事名称 福山市立城西中学校給水設備他改修工事		
図面名称 仮設計画図	縮尺 1/300	図番 M-14
設計 株式会社 ヤマウチ 設備設計事務所登録番号 第1334M0046号 〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1297 代表取締役 TEL 084-952-0035 FAX 084-952-0174 山内 健太 印		

参考数量書

§ 工事名称 福山市立城西中学校給水設備他改修工事

§ 工事場所 福山市山手町3000番地

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

工事名称 福山市立城西中学校給水設備他改修工事

工事場所 福山市山手町3000番地

【工事概要】
・給水設備工事 ~ 一式
・撤去工事 ~ 一式

【別途工事】
・電気設備工事 ~ 一式

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

直接工事費種目別内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
仮設工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				

直接工事費科目別内訳

仮設工事									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
仮設工事		1			式				
	計								

直接工事費科目別内訳

機械設備工事									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
給水設備		1			式				
排水設備		1			式				
撤去工事		1			式				
発生材処理		1			式				
	計								

直接工事費 中科目別内訳

仮設工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事		1	式		
計					

直接工事費 中科目別内訳

機械設備工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
給水設備	屋内給水設備	1	式		
給水設備	屋外給水設備	1	式		
計					
排水設備	屋外排水設備	1	式		
計					
撤去工事		1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

直接工事費 細目別内訳

仮設工事		仮設工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 22m未満 -	17	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 22m未満 -	17	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 22m未満 -	17	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	41	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	41	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	41	m			
養生シート張り	防災 類 掛払い手間 -	17	m ²			
養生シート張り	防災 類 供用1日賃料 修理費含む -	17	m ²			
養生シート張り	防災 類 基本料 修理費含む -	17	m ²			
計						

直接工事費 細目別内訳

機械設備工事		給水設備			屋内給水設備	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水・耐衝撃性 ポリ塩化ビニル管(HIVP)	屋内一般 50A	42	m			
配管架台	SUS製 L-50×50×4t 300×500 スタックボード 200×200×150 クッションパッド	12	組			
配管架台	SUS製 L-40×40×3t 250×150	4	組			
給水管 保温	ポリ塩化ビニル 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 50A	42	m			
計						

直接工事費細目別内訳

機械設備工事		給水設備		屋外給水設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
揚水ポンプ	SUS製多段ポンプの仕様 全閉外扇屋内形 50×200L/min×90mH×11.0KW	2	台			
受水槽付き 加圧給水ポンプ	容量:2.1m3 有効水量:1.0m3 自動交互運転 40×200L/min×29m 3.7Kw×2	1	組			
薬注ポンプ	容量:120L	1	台			
多段ポンプ 据付 (衛生機器)	標準基礎 11.0 kW以下	2	台			
小形給水 ポンプユニット 据付 (衛生機器)	標準基礎 3.7 kW以下 ポンプ 2台	1	基			
ライポンプ 据付 (衛生機器)	0.4 kW以下	1	台			
搬入費	複数搬入 500kg以下	0.3	t			
水道用ポリ пропилен管	軟質管・金属製継手接合 地中配管 50A	615	m			
給水・耐衝撃性 ポリ塩化ビニル管(HIVP)	屋内一般 50A	3	m			
給水・耐衝撃性 ポリ塩化ビニル管(HIVP)	機械室・便所 50A	10	m			
給水・耐衝撃性 ポリ塩化ビニル管(HIVP)	屋外架空・暗渠 50A	6	m			
給水・耐衝撃性 ポリ塩化ビニル管(HIVP)	地中配管 50A	64	m			
仕切弁用鉄蓋枠 福山市黒	2個	1	式			
ローケーティングワイヤー	600m	1	式			
埋設標識テープ	150幅	677	m			

直接工事費細目別内訳

機械設備工事		給水設備		屋外給水設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
地中埋設標	コンクリート製	7	個			
SUS製ボックス	850×850×150H	1	個			
排水・配管用 炭素鋼鋼管(白)	ねじ接合 地中配管 100A	2	m			
青銅仕切弁	10K(ねじ) 40A	1	個			
青銅仕切弁	10K(ねじ) 50A	8	個			
青銅逆止弁	10K(ねじ・スイング) 40A	1	個			
青銅逆止弁	10K(ねじ・スイング) 50A	2	個			
ポリプロピレンジョイント	V型 50A	4	個			
ポリプロピレンジョイント	合成ゴム製 40A	1	個			
弁楔	機械 VC-3(700H)	3	組			
ネットフェンス	H=2.0m	13	m			
機械はつり(パイプ バンドカッターによる 配管用貫通口)	200mm程度 100mm	1	か所			
機械はつり(パイプ バンドカッターによる 配管用貫通口)	100~150mm 125mm	2	か所			
給水管 保温	グラスウール 機械室,書庫,倉庫 アルミガラスウール 50A	10	m			
給水管 保温	ポリプロピレン 暗渠内 着色アルミガラスウール 50A	3	m			

直接工事費細目別内訳

機械設備工事		給水設備		屋外給水設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水管 保温	ホリスル 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 50A	6	m			
根切り(機械)	ハック杓 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	354	m3			
埋戻し	機械 ハック杓 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	278	m3			
山砂		76	m3			
建設発生土処理	人力 構内敷ならし	76	m3			
コンクリート舗装	車道C-15-15(溶接金網共) 特に狭い場所 人力 路盤材共 クッション	27	m ²			
コンクリート類 集積、積込み	機械	2.7	m3			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20~30mm	87	m			
アスファルト舗装	A-5-15 再生細粒 再生クッション 500-1000mm未満	590	m ²			
アスファルト舗装撤去	撤去 集積共 砕石含む	30	m3			
カッター入れ	アスファルト面 厚さ20~30mm	2,360	m			
植栽仮撤去・復旧		1	式			
土工機械運搬 (ハック杓)	排出ガス対策型 油圧式加圧型0.13m3 (ハック杓)	1	往復			
計						

直接工事費細目別内訳

機械設備工事		排水設備		屋外排水設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	屋外架空・暗渠 20A	1	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	機械室・便所 50A	1	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	地中配管 20A	1	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	地中配管 50A	2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VU)	地中配管 100A	11	m			
P・P製穴枘(トラップ付)	300 × 450H レジン製防臭蓋300	1	組			
ブラスチック枘(鑄鉄製防護ふた)	枘径150 最大排水管径100 90L,45L ~ 500 T- 8 蝶番ロック式	2	組			
パイロット改修	600角以下	1	か所			
根切り(機械)	ハック杓 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	3	m3			
埋戻し	機械 ハック杓 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	1	m3			
山砂		2	m3			
建設発生土処理	人力 構内敷ならし	2	m3			
排水管 保温	グラスウール 機械室,書庫,倉庫 アルミガラスウール 50A	1	m			
計						

直接工事費 細目別内訳

機械設備工事		撤去工事						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考		
揚水ポンプ 撤去	750L M65- -2-15.0KW 再使用しない	2	台					
薬注ポンプ 撤去	オートックス OMU Y-50K 再使用しない	1	台					
屋内給水								
揚水 配管区分A 撤去	屋内一般 80A 再使用しない	5	m					
給水管 保温撤去	ホリスル 屋外露出,浴室 スチール鋼板 80A 再使用しない	5	m					
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ 屋外給水	配管切断 80A 保温有	1	か所					
揚水 配管区分A 撤去	機械室・便所 80A 再使用しない	7	m					
揚水 配管区分A 撤去	機械室・便所 100A 再使用しない	5	m					
給水管 保温撤去	グラスカール 機械室,書庫,倉庫 アルミグラスコア 80A 再使用しない	7	m					
給水管 保温撤去	グラスカール 機械室,書庫,倉庫 アルミグラスコア 100A 再使用しない	5	m					
弁保温撤去	グラスカール 屋内露出 80A 再使用しない	6	個					
仕切弁	10K 80A 再使用しない	4	個					
逆止弁	10K 80A 再使用しない	2	個					
マルチジョイント	ハロー型 80×500L 再使用しない	4	個					

直接工事費 細目別内訳

機械設備工事		撤去工事						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考		
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ 切断	配管切断 80A 保温有	1	か所					
プラグ止め	給水管 保温有 配管A 機械室露出 80A	1	か所					
切断・キャップ止め	100A	1	か所					
屋外排水	給水管 保温有 配管A 機械室露出 100A	2	か所					
既存マンホール蓋 (FRP製) 撤去	600 再使用しない	1	個					
計								

機械設備工事		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生材運搬費	一般	1	t			
建設発生材運搬費	無筋コンクリート	2.7	m3			
建設発生材運搬費	アスファルト	30	m3			
建設発生材処分費	一般	1	t			
建設発生材処分費	無筋コンクリート	2.7	m3			
建設発生材処分費	アスファルト	30	m3			
計						